

鋁工業指數參考図表集  
(2021年9月速報)

2021年10月29日

經濟解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

# 2021年9月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	89.5	86.5	98.4	120.4
前月比	-5.4%	-6.2%	3.7%	5.9%
指数水準	2020.8 88.3以来 ①2020.5 77.2 ②2020.6 81.0 ③2020.4 86.3	2020.7 85.4以来 ①2020.5 75.9 ②2020.6 81.1 ③2020.4 84.1	2020.8 98.6以来 I 2020.1 105.9 II 2020.3, 4 105.1 III 2019.6, 2020.2 104.4	2020.8 124.7以来 I 2020.5 150.5 II 2020.6 138.3 III 2020.4 137.6
前月比の動き	3か月連続－ (2021.7～当月)	3か月連続－ (2021.7～当月)	3か月ぶり＋ (2021.6以来)	3か月連続＋ (2021.7～当月)
前月比幅	2021.5 -6.5%以来 ①2020.5 -10.5% ②2020.4 -10.3% ③2021.5 -6.5%	2020.5 -9.8%以来 ①2020.4 -10.3% ②2020.5 -9.8% ③2021.9 -6.2%	2015年基準最高水準 I 2021.9 3.7% II 2017.10 2.9% III 2018.3 2.6%	2020.5 9.4%以来 I 2020.4 13.3% II 2020.5 9.4% III 2014.4 7.4%
前年同月比(原指数)	-2.3%(93.2)	-4.6%(90.7)	0.8%(97.5)	0.7%(113.3)
前年同月比の動き	7か月ぶり－ (2021.2以来)	7か月ぶり－ (2021.2以来)	17か月ぶり＋ (2020.4以来)	12か月ぶり＋ (2020.9以来)
前年同月比幅	2021.1 -5.3%以来 ①2020.5 -27.0% ②2020.6 -18.4% ③2020.7 -15.9%	2021.1 -5.3%以来 ①2020.5 -27.5% ②2020.4 -17.0% ③2020.7 -16.8%	2020.4 2.6%以来 I 2014.11 7.0% II 2014.12 5.9% III 2014.8 5.5%	2020.9 7.6%以来 I 2020.5 43.5% II 2020.4 29.7% III 2020.6 23.9%

1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 2021年9月の鉱工業生産の基調判断

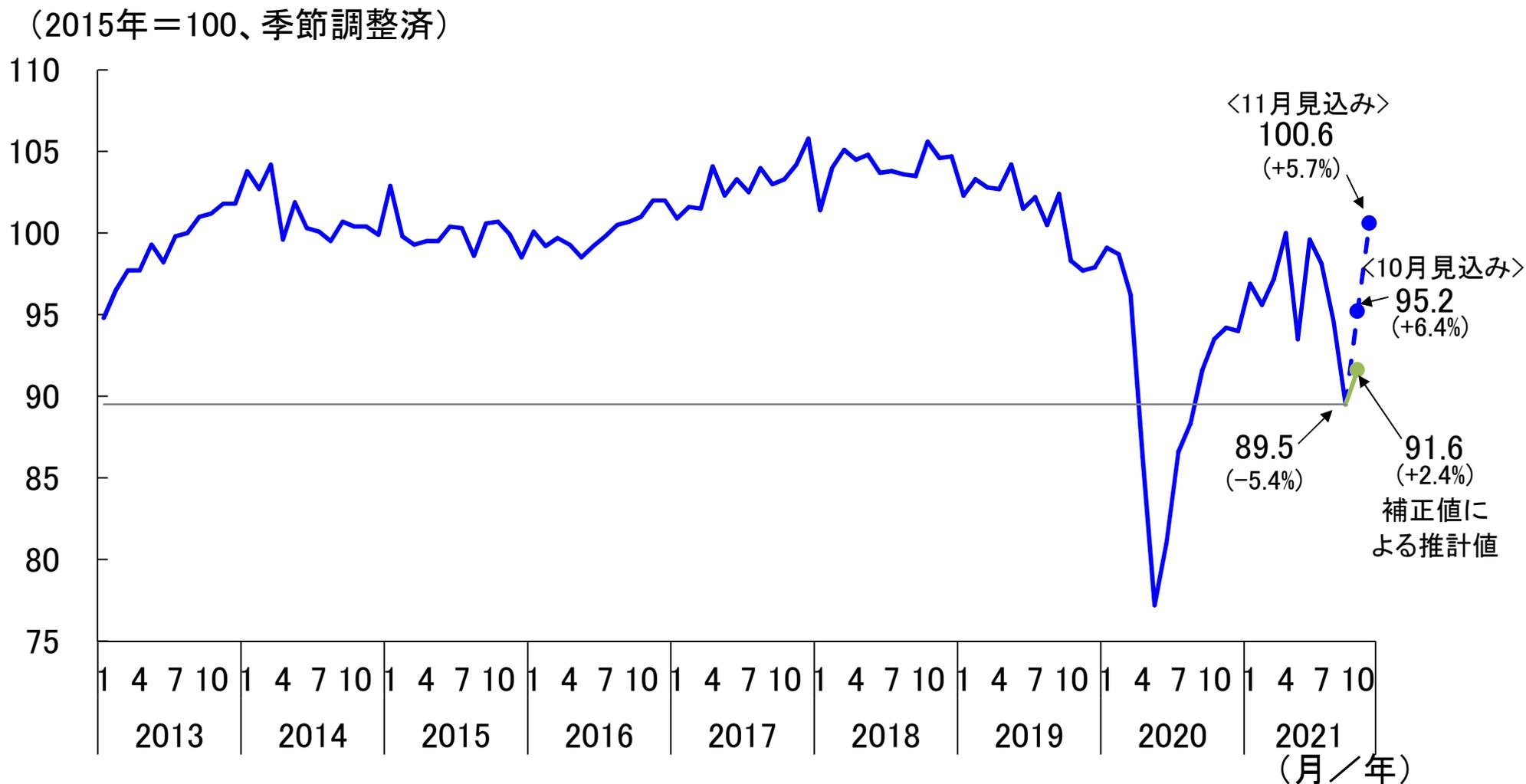
## 「生産は足踏みをしている」

### 基調判断の推移

- ・2018年1月～6月 「生産は緩やかな持ち直し」
- ・2018年7月～9月 「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」
- ・2018年10月～12月 「生産は緩やかな持ち直し」
- ・2019年1月、2月 「生産は足踏みをしている」
- ・2019年3月 「生産はこのところ弱含み」
- ・2019年4月～7月 「生産は一進一退」
- ・2019年8月、9月 「生産はこのところ弱含み」
- ・2019年10月～12月 「生産は弱含み」
- ・2020年1月、2月 「生産は一進一退ながら弱含み」
- ・2020年3月 「生産は低下している」
- ・2020年4月、5月 「生産は急速に低下している」
- ・2020年6月 「生産は下げ止まり、持ち直しの動き」
- ・2020年7月 「生産は持ち直しの動き」
- ・2020年8月～2021年7月 「生産は持ち直している」
- ・2021年8月～ 「生産は足踏みをしている」

# 鋳工業生産指数の動向と先行き

・ 2021年9月の鋳工業生産指数は、89.5(前月比-5.4%)と3か月連続の低下。



(注) 鋳工業指数 (IIP) とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、2015年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標

(注) 補正值は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鋳工業指数の動きをより適切に把握できるように試算したものです

# 2021年9月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

・ 2021年9月の鉱工業生産指数は、89.5（前月比-5.4%）と3か月連続の低下。

		業種・品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を <b>低下</b> 方向へ引っ張った3業種の中で <b>低下</b> への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	-28.2%	-3.71%pt
	品目	普通乗用車	-36.4%	-1.69%pt
		駆動伝導・操縦装置部品	-23.3%	-0.48%pt
	2位の業種	汎用・業務用機械工業	-5.7%	-0.45%pt
	品目	コンベヤ	-38.5%	-0.16%pt
		圧縮機	-21.6%	-0.06%pt
3位の業種	プラスチック製品工業	-7.0%	-0.33%pt	
品目	プラスチック製機械器具部品	-18.6%	-0.27%pt	
	プラスチック製容器（中空成形以外）	-6.3%	-0.02%pt	
鉱工業生産を <b>上昇</b> 方向へ引っ張った3業種の中で <b>上昇</b> への影響度が大きい2品目	1位の業種	無機・有機化学工業	2.6%	0.13%pt
	品目	ポリエチレン	15.4%	0.05%pt
		エチレン	11.8%	0.04%pt
	2位の業種	化学工業（除. 無機・有機化学工業・医薬品）	2.5%	0.10%pt
	品目	乳液・化粧水類	4.1%	0.04%pt
		合成洗剤	4.9%	0.03%pt
3位の業種	石油・石炭製品工業	7.9%	0.08%pt	
品目	ガソリン	10.3%	0.04%pt	
	灯油	31.8%	0.02%pt	

寄与度：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある

# 2021年9月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・財別)

## <全体>

		品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を <b>低下</b> 方向 に引っ張った3品目	1位	普通乗用車	-36.4%	-1.69%pt
	2位	駆動伝導・操縦装置部品	-23.3%	-0.48%pt
	3位	自動車用エンジン	-28.1%	-0.35%pt
鉱工業生産を <b>上昇</b> 方向 に引っ張った3品目	1位	水管ボイラ	450.7%	0.28%pt
	2位	フラットパネル・ディスプレイ製造装置	65.4%	0.13%pt
	3位	超音波応用装置	73.2%	0.11%pt

※品目のうち、秘匿の関係で寄与度を表記できない品目は、上記表の記載から外している  
(記載から外す品目) 鉄道車両 等

## <財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与度
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-6.2%	-3.14%pt
		駆動伝導・操縦装置部品	-23.3%	-0.48%pt
		自動車用エンジン	-28.1%	-0.35%pt
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-28.7%	-1.99%pt
		普通乗用車	-36.4%	-1.43%pt
		小型乗用車	-39.9%	-0.33%pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	0.7%	0.04%pt
		金属製管継手	86.7%	0.09%pt
		橋りょう	20.4%	0.03%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.3%	0.06%pt
		乳液・化粧水類	4.1%	0.04%pt
		合成洗剤	4.9%	0.03%pt
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送用)	2.1%	0.32%pt
		水管ボイラ	450.7%	0.28%pt
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	65.4%	0.13%pt

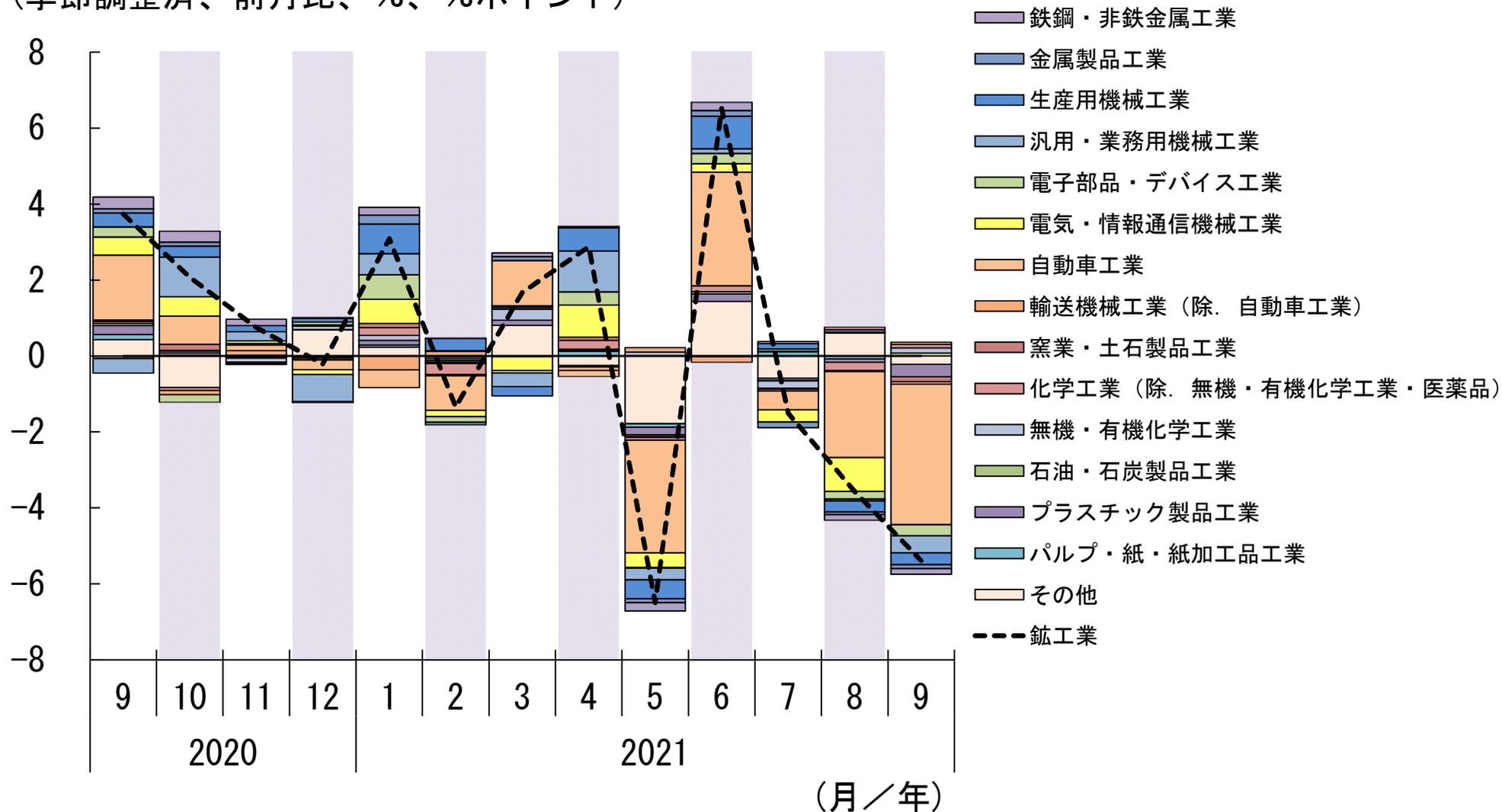
※品目のうち、秘匿の関係で寄与度を表記できない品目は、上記表の記載から外している  
(記載から外す品目) 鉄道車両 等

寄与度：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある

# 鉱工業生産前月比 業種別の影響度合い

・2021年9月の生産指数は、無機・有機化学工業などが上昇したものの、自動車工業などが低下したため、前月比-5.4%と低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)





## 2021年9月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（業種別）

・ 2021年9月の鉱工業出荷指数は、86.5（前月比-6.2%）と3か月連続の低下。

		業種・品目名	前月比	寄与度
鉱工業出荷を <b>低下</b> 方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	-32.5%	-4.79%pt
	品目	普通乗用車	-43.1%	-2.45%pt
		駆動伝導・操縦装置部品	-23.3%	-0.46%pt
	2位の業種	電気・情報通信機械工業	-7.1%	-0.54%pt
	品目	リチウムイオン蓄電池	-41.8%	-0.30%pt
		ノート型パソコン	-23.1%	-0.10%pt
3位の業種	生産用機械工業	-4.5%	-0.36%pt	
品目	半導体製造装置	-7.6%	-0.18%pt	
	シヨベル系掘削機械	-9.9%	-0.15%pt	
鉱工業出荷を <b>上昇</b> 方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	輸送機械工業（除. 自動車工業）	16.6%	0.32%pt
	品目	船用ディーゼル機関	8.4%	0.01%pt
	2位の業種	石油・石炭製品工業	3.5%	0.21%pt
	品目	ガソリン	7.1%	0.16%pt
		ナフサ	13.4%	0.11%pt
3位の業種	無機・有機化学工業	1.3%	0.07%pt	
品目	エチレン	13.2%	0.08%pt	
	プロピレン	8.6%	0.04%pt	

※品目のうち、秘匿の関係で寄与度を表記できない品目は、上記表の記載から外している  
（記載から外す品目）鉄道車両 等

寄与度：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある

## 2021年9月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

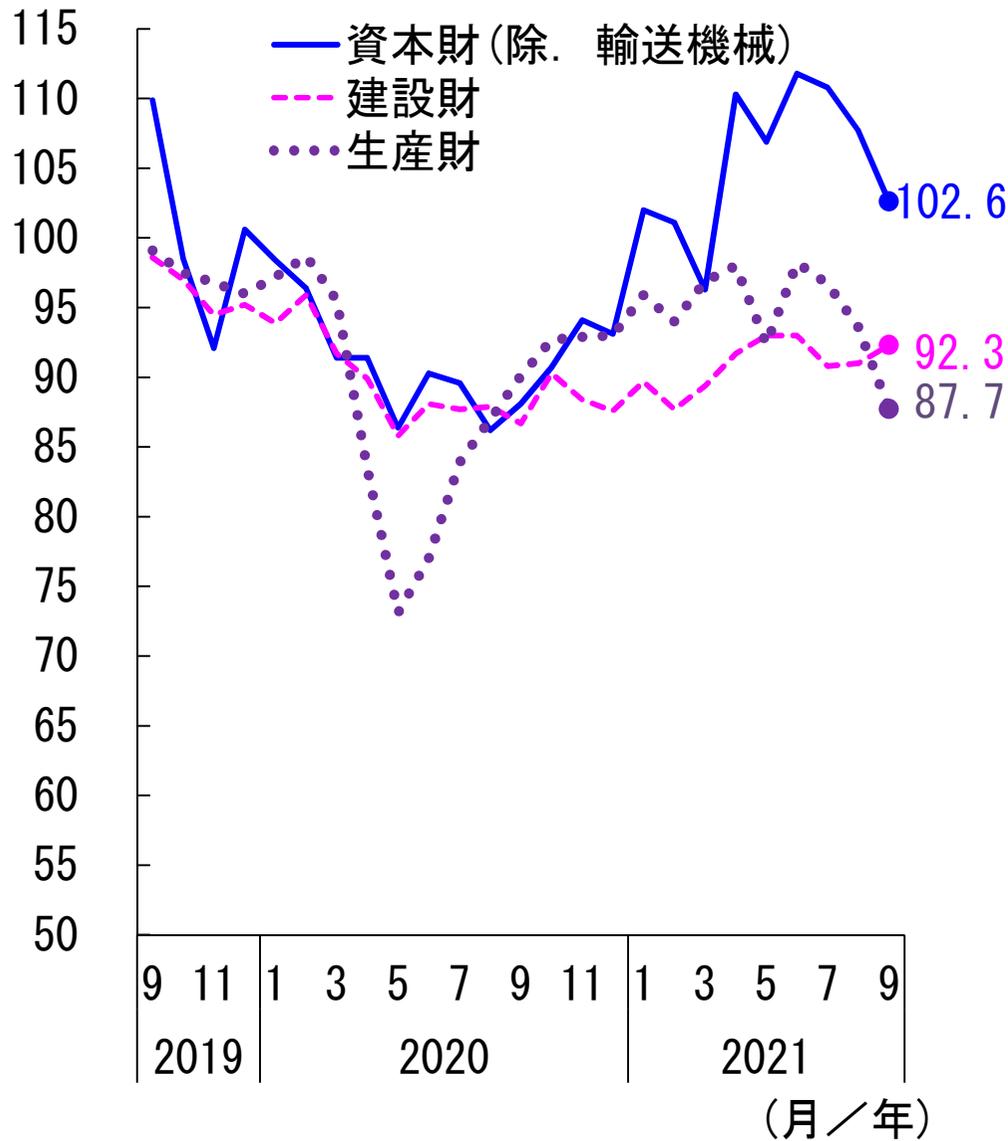
	解説	品目名	前月比	寄与度
生産財	原材料として投入される製品	<b>生産財</b>	<b>-6.3%</b>	<b>-3.35%pt</b>
		駆動伝導・操縦装置部品	-23.3%	-0.46%pt
		自動車用エンジン	-27.8%	-0.33%pt
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	<b>耐久消費財</b>	<b>-32.8%</b>	<b>-2.72%pt</b>
		普通乗用車	-43.1%	-2.08%pt
		小型乗用車	-37.4%	-0.35%pt
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	<b>資本財（除. 輸送用）</b>	<b>-4.7%</b>	<b>-0.64%pt</b>
		半導体製造装置	-7.6%	-0.18%pt
		ショベル系掘削機械	-9.9%	-0.15%pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	<b>建設財</b>	<b>1.4%</b>	<b>0.08%pt</b>
		金属製管継手	86.8%	0.08%pt
		鉄骨・軽量鉄骨	7.2%	0.02%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	<b>非耐久消費財</b>	<b>0.7%</b>	<b>0.10%pt</b>
		ガソリン	7.1%	0.07%pt
		合成洗剤	9.6%	0.03%pt

※品目のうち、秘匿の関係で寄与度を表記できない品目は、上記表の記載から外している  
（記載から外す品目）鉄道車両 等

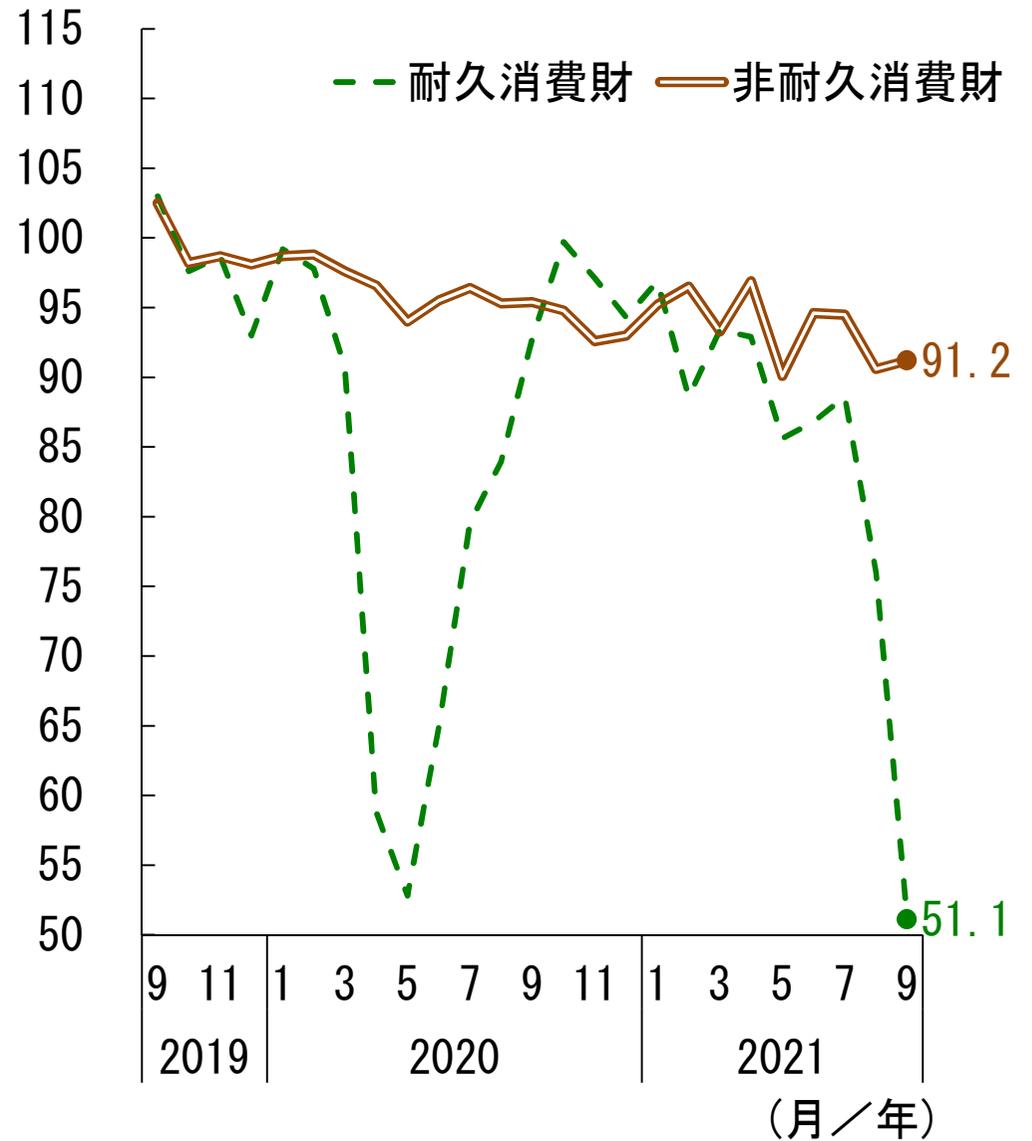
寄与度：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇品目と低下品目の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある

# 財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)



(2015年=100、季節調整済)





## 2021年9月の鉱工業在庫指数を大きく動かした品目（業種別）

・ 2021年9月の鉱工業在庫指数は、98.4（前月比3.7%）と3か月ぶりの上昇。

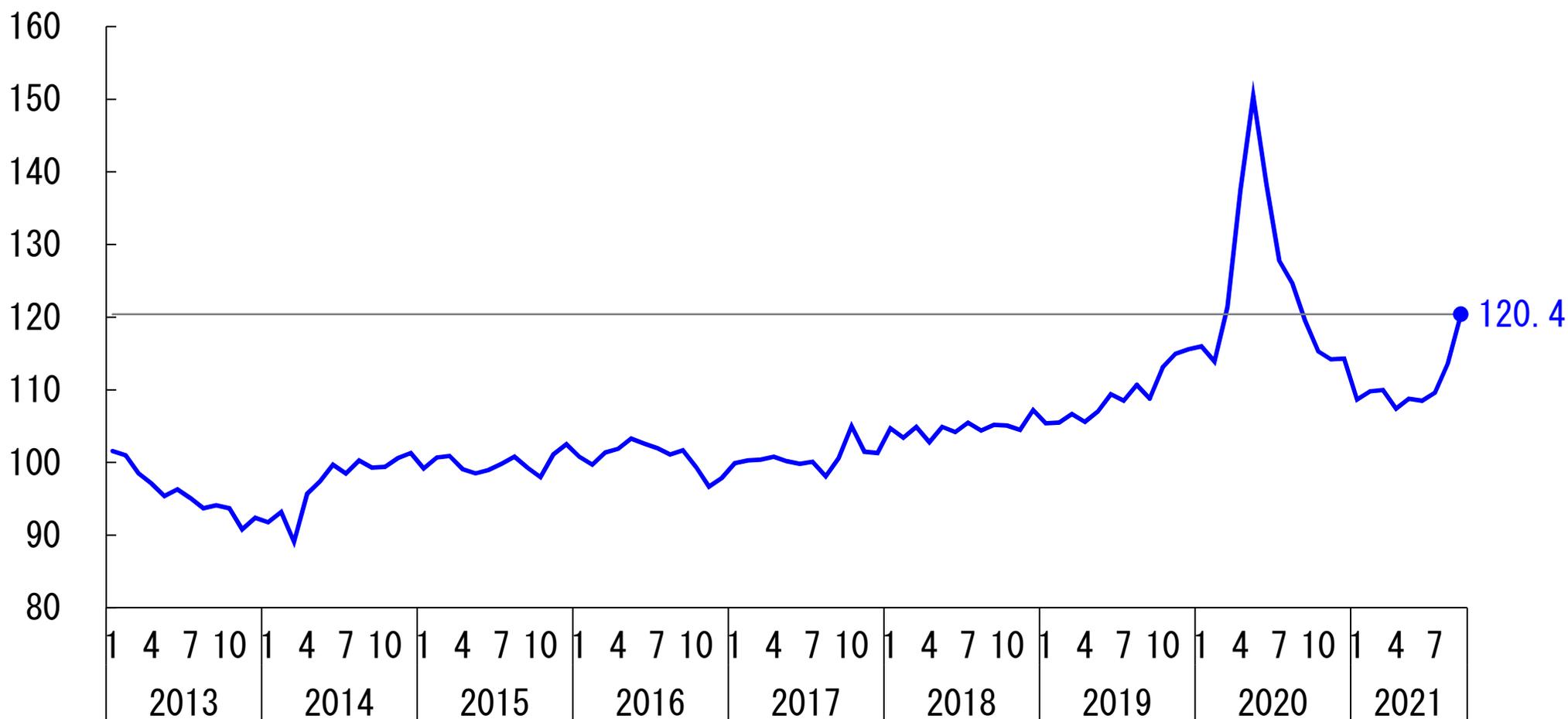
		業種・品目名	前月比	寄与度
鉱工業在庫を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	電気・情報通信機械工業	15.8%	0.99%pt
	品目	リチウムイオン蓄電池	83.1%	0.52%pt
		セパレート形エアコン	18.9%	0.21%pt
	2位の業種	鉄鋼・非鉄金属工業	4.5%	0.81%pt
	品目	鋼半製品	3.6%	0.19%pt
		普通鋼鋼帯	10.0%	0.13%pt
3位の業種	自動車工業	8.4%	0.45%pt	
品目	普通乗用車	14.7%	0.36%pt	
	普通トラック	12.6%	0.17%pt	
鉱工業在庫を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	金属製品工業	-0.6%	-0.03%pt
	品目	ガス温水給湯暖房機・風呂がま	-21.2%	-0.10%pt
		ガス湯沸器	-11.5%	-0.02%pt
	2位の業種	—	—	—
	品目			
	3位の業種	—	—	—
品目				

寄与度：在庫全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある

# 鉍工業在庫率指数の動向

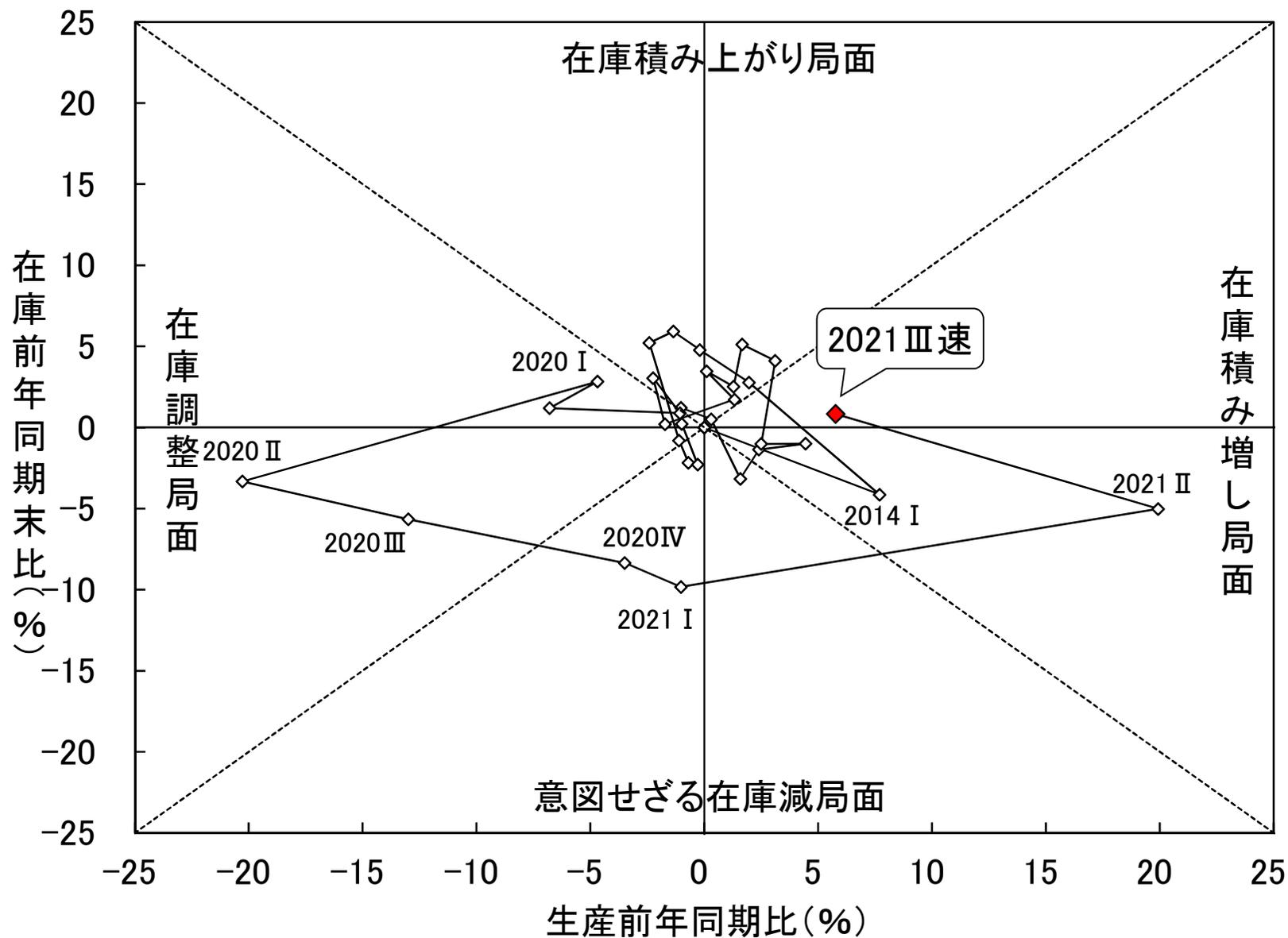
・ 2021年9月の在庫率指数は、120.4(前月比5.9%)と3か月連続の上昇。

(2015年=100、季節調整済)



(月/年)

# 鉍工業の在庫循環図



# 製造工業生産予測指数 時系列

〈製造工業：Manufacturing〉

index, 2015 =100

年 月	季節調整済指数			前月比			実現率 Realization Ratio	予測修正率 Amendmen t Ratio	原指数			前年同月比			(参考)原指数による		Year and Month
	Seasonally Adjusted Index			%Change From Previous Month					Original Index			%Change From Previous Year			実現率 Realization Ratio	予測修正率 Amendment Ratio	
	前月実績 Last Month	当月見込み This Month	翌月見込み Next Month	前月実績 Last Month	当月見込み This Month	翌月見込み Next Month			前月実績 Last Month	当月見込み This Month	翌月見込み Next Month	前月実績 Last Month	当月見込み This Month	翌月見込み Next Month			
2020 年 8月調査	86.9	91.1	92.9	8.4	4.8	2.0	▲ 1.1	▲ 0.9	90.1	82.9	97.1	▲ 16.9	▲ 12.5	▲ 7.1	▲ 1.1	▲ 0.8	Aug. 2020
9月調査	88.9	93.7	96.7	2.3	5.4	3.2	▲ 2.4	0.9	80.9	98.0	98.8	▲ 14.6	▲ 6.2	▲ 2.5	▲ 2.4	0.9	Sep.
10月調査	92.8	97.0	97.9	4.4	4.5	0.9	▲ 1.0	0.3	97.0	99.1	98.5	▲ 7.2	▲ 2.2	▲ 0.9	▲ 1.0	0.3	Oct.
11月調査	95.4	97.6	96.6	2.8	2.3	▲ 1.0	▲ 1.6	▲ 0.3	97.5	98.2	99.9	▲ 3.8	▲ 1.2	▲ 0.6	▲ 1.6	▲ 0.3	Nov.
12月調査	97.1	97.4	101.9	1.8	0.3	4.6	▲ 0.5	0.8	97.7	100.7	96.6	▲ 1.7	0.2	▲ 0.4	▲ 0.5	0.8	Dec.
2021 年 1月調査	96.6	102.6	103.5	▲ 0.5	6.2	0.9	▲ 0.8	0.7	99.9	97.2	100.2	▲ 0.6	0.2	3.9	▲ 0.8	0.6	Jan. 2021
2月調査	98.8	102.3	97.5	2.3	3.5	▲ 4.7	▲ 3.7	▲ 1.2	93.6	99.0	111.0	▲ 3.5	2.7	5.0	▲ 3.7	▲ 1.2	Feb.
3月調査	98.8	98.4	107.3	0.0	▲ 0.4	9.0	▲ 3.4	0.9	95.6	112.1	103.9	▲ 0.8	6.1	25.5	▲ 3.4	1.0	Mar.
4月調査	98.9	107.2	102.6	0.1	8.4	▲ 4.3	0.5	▲ 0.1	112.6	103.8	94.3	6.5	25.4	35.3	0.4	▲ 0.1	Apr.
5月調査	102.8	101.1	106.2	3.9	▲ 1.7	5.0	▲ 4.1	▲ 1.5	99.5	93.0	107.5	20.2	33.4	32.4	▲ 4.1	▲ 1.4	May
6月調査	96.5	105.3	103.8	▲ 6.1	9.1	▲ 1.4	▲ 4.5	▲ 0.8	88.7	106.6	105.9	27.3	31.3	17.5	▲ 4.6	▲ 0.8	Jun.
7月調査	103.6	102.5	104.2	7.4	▲ 1.1	1.7	▲ 1.6	▲ 1.3	104.8	104.6	96.2	29.1	16.1	18.9	▲ 1.7	▲ 1.2	Jul.
8月調査	99.6	103.0	104.0	▲ 3.9	3.4	1.0	▲ 2.8	▲ 1.2	101.6	95.1	108.7	12.8	17.6	12.1	▲ 2.9	▲ 1.1	Aug.
9月調査	97.3	97.5	104.1	▲ 2.3	0.2	6.8	▲ 5.5	▲ 6.3	89.9	101.9	104.7	11.1	5.1	7.4	▲ 5.5	▲ 6.3	Sep.
10月調査	93.9	99.9	105.6	▲ 3.5	6.4	5.7	▲ 3.7	▲ 4.0	98.2	100.5	107.9	1.2	3.1	10.4	▲ 3.6	▲ 4.0	Oct.

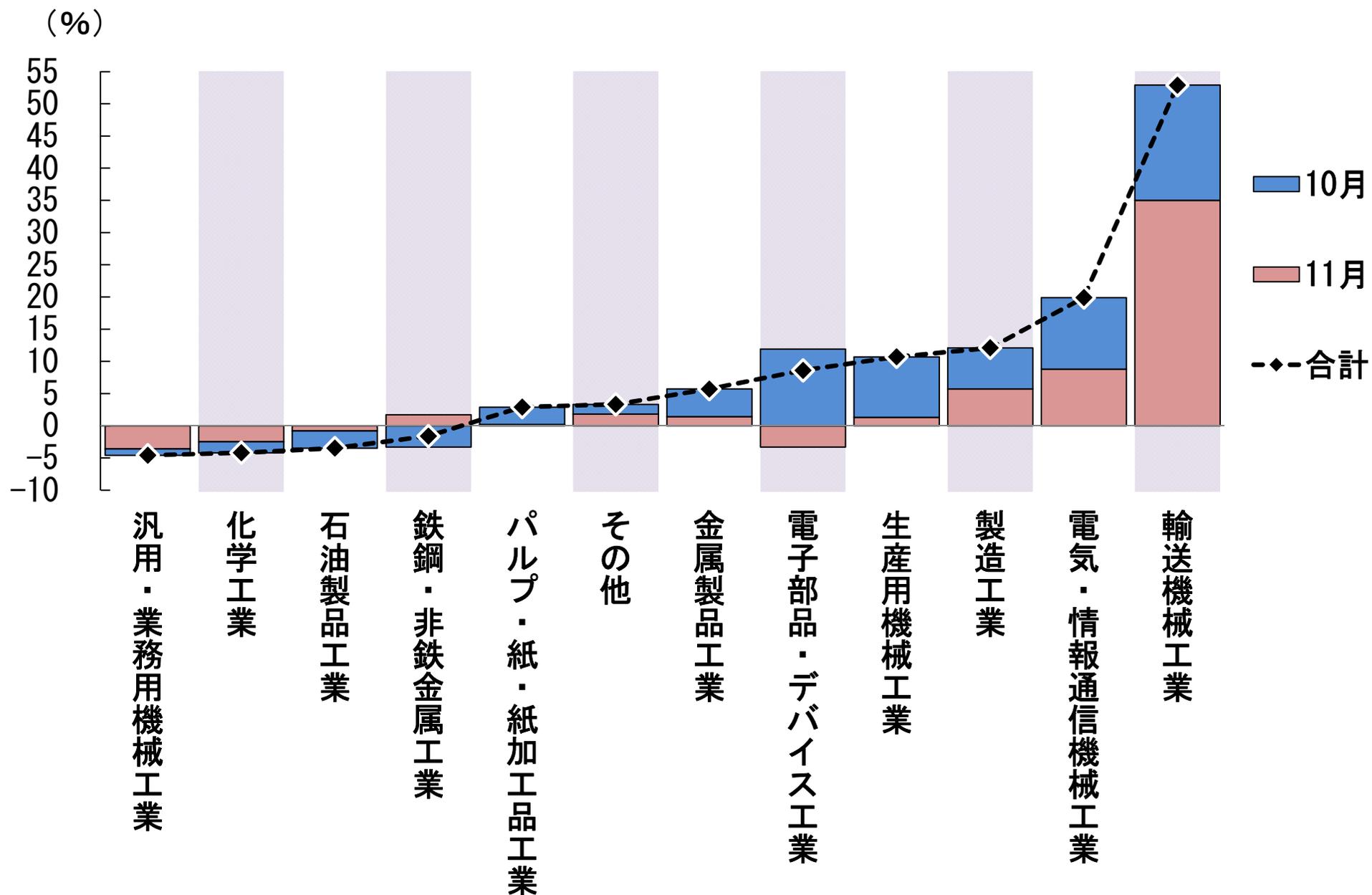
## 製造工業生産予測指数（当月、翌月の生産伸び率）

	9月調査 (前回)		10月調査 (今回)	10月調査 補正值
10月見込み	6.8%	⇒	6.4%	2.4% (0.4%~4.4%)
11月見込み	—		5.7%	—

### (参考) 前回調査の結果

	9月予測調査	9月補正值	実際の結果
			鉱工業生産指数
9月前月比	0.2%	-1.3% (-3.2%~0.6%)	-5.4%

## 2か月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



## 2021年10月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
輸送機械工業	17.9%
生産用機械工業	9.4%
電子部品・デバイス工業	11.9%
電気・情報通信機械工業	11.1%
金属製品工業	4.3%
その他	1.5%
パルプ・紙・紙加工品工業	2.7%

低下寄与業種	計画前月比
石油製品工業	-2.7%
汎用・業務用機械工業	-1.0%
鉄鋼・非鉄金属工業	-3.3%
化学工業	-1.7%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます

## 2021年11月生産計画の寄与順位表

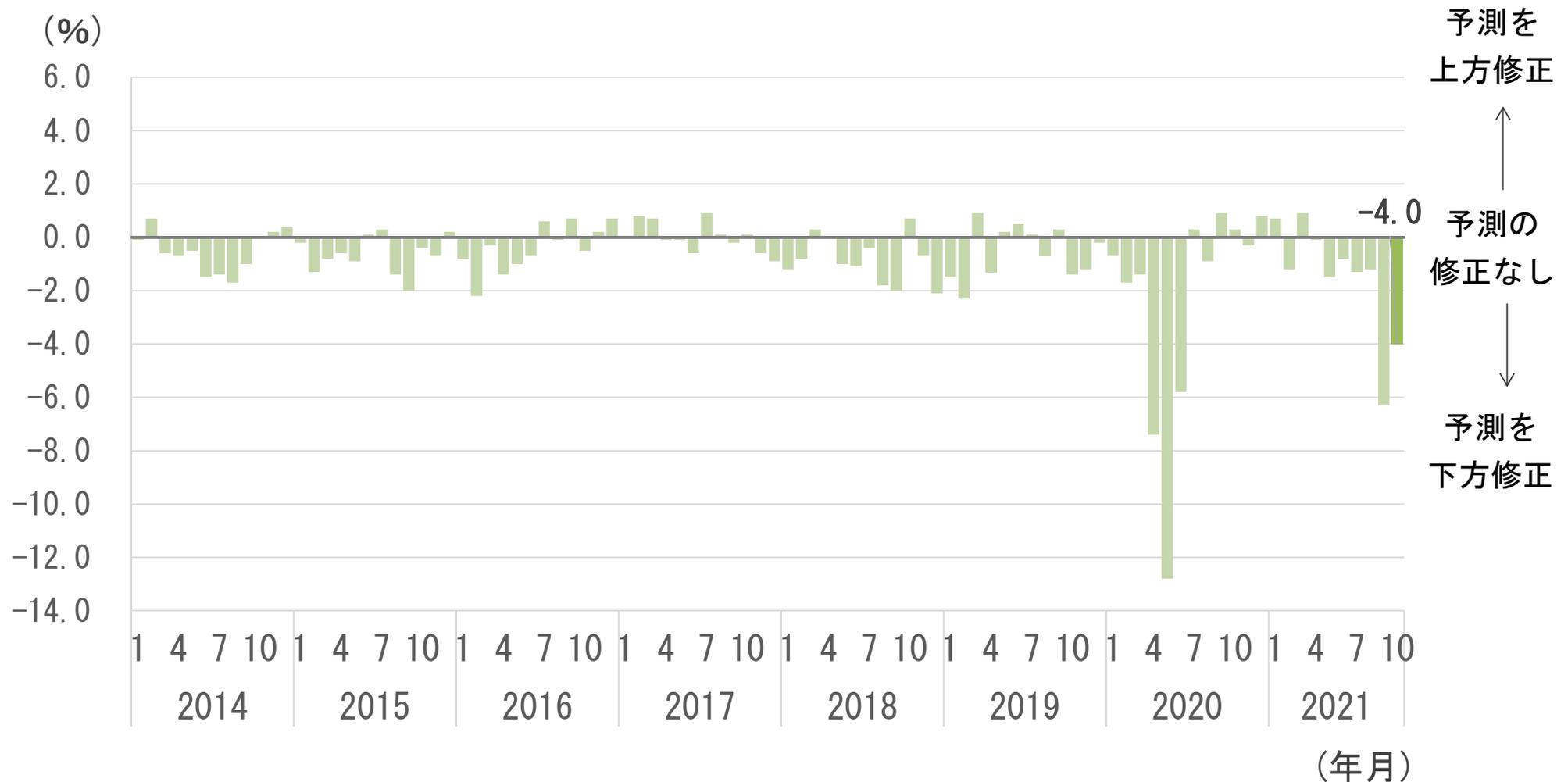
上昇寄与業種	計画前月比
輸送機械工業	35.0%
電気・情報通信機械工業	8.8%
生産用機械工業	1.3%
その他	1.8%
鉄鋼・非鉄金属工業	1.7%
金属製品工業	1.4%
パルプ・紙・紙加工品工業	0.2%

低下寄与業種	計画前月比
石油製品工業	-0.8%
化学工業	-2.5%
電子部品・デバイス工業	-3.3%
汎用・業務用機械工業	-3.6%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます

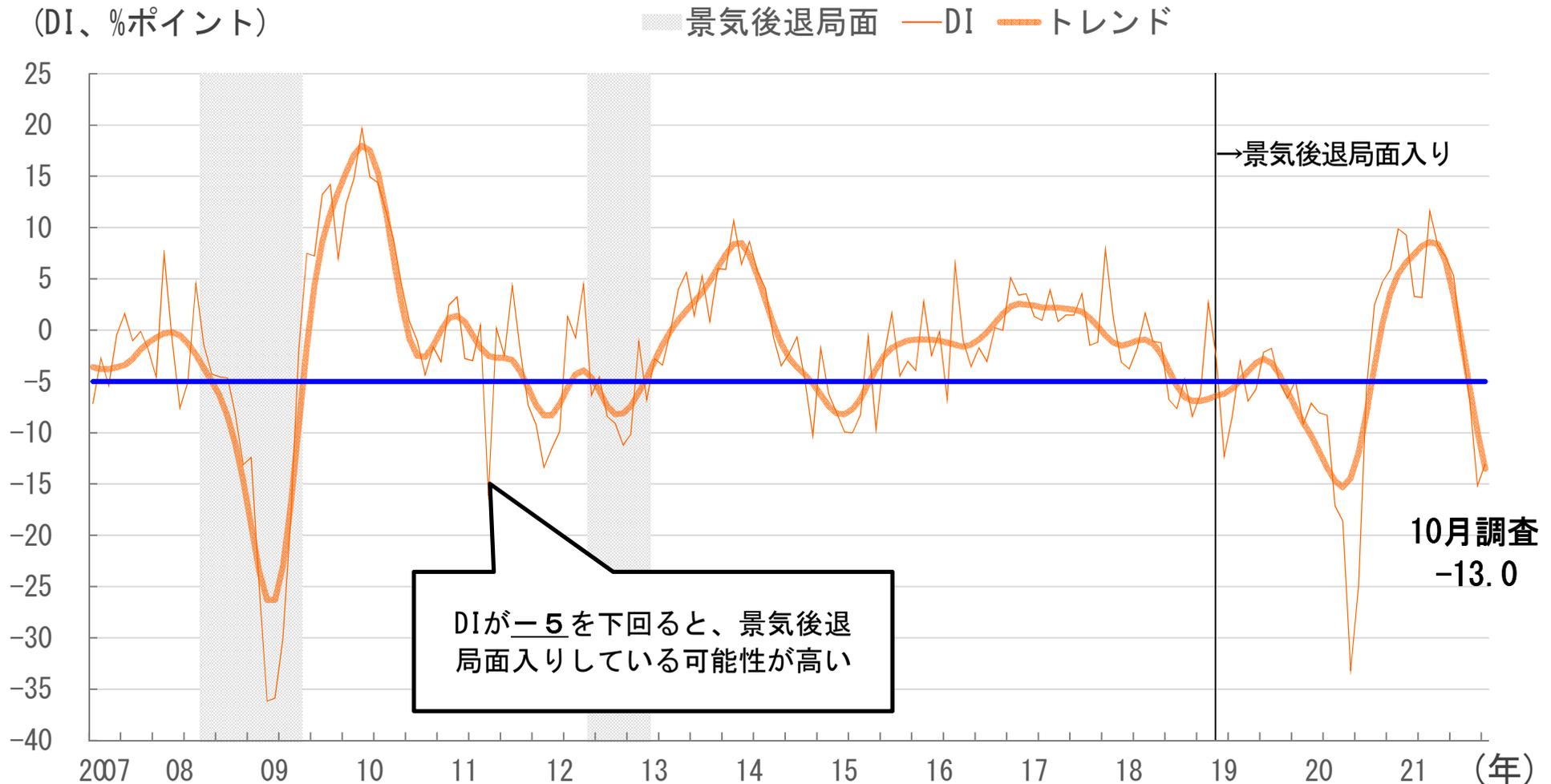
# 予測修正率の推移

- ・ 当月の生産計画が前回の生産計画からどの程度修正されたかを示したものが予測修正率となる。
- ・ 今回の調査では、予測修正率は-4.0%と低下になり、生産計画は7か月連続の下方修正となった。



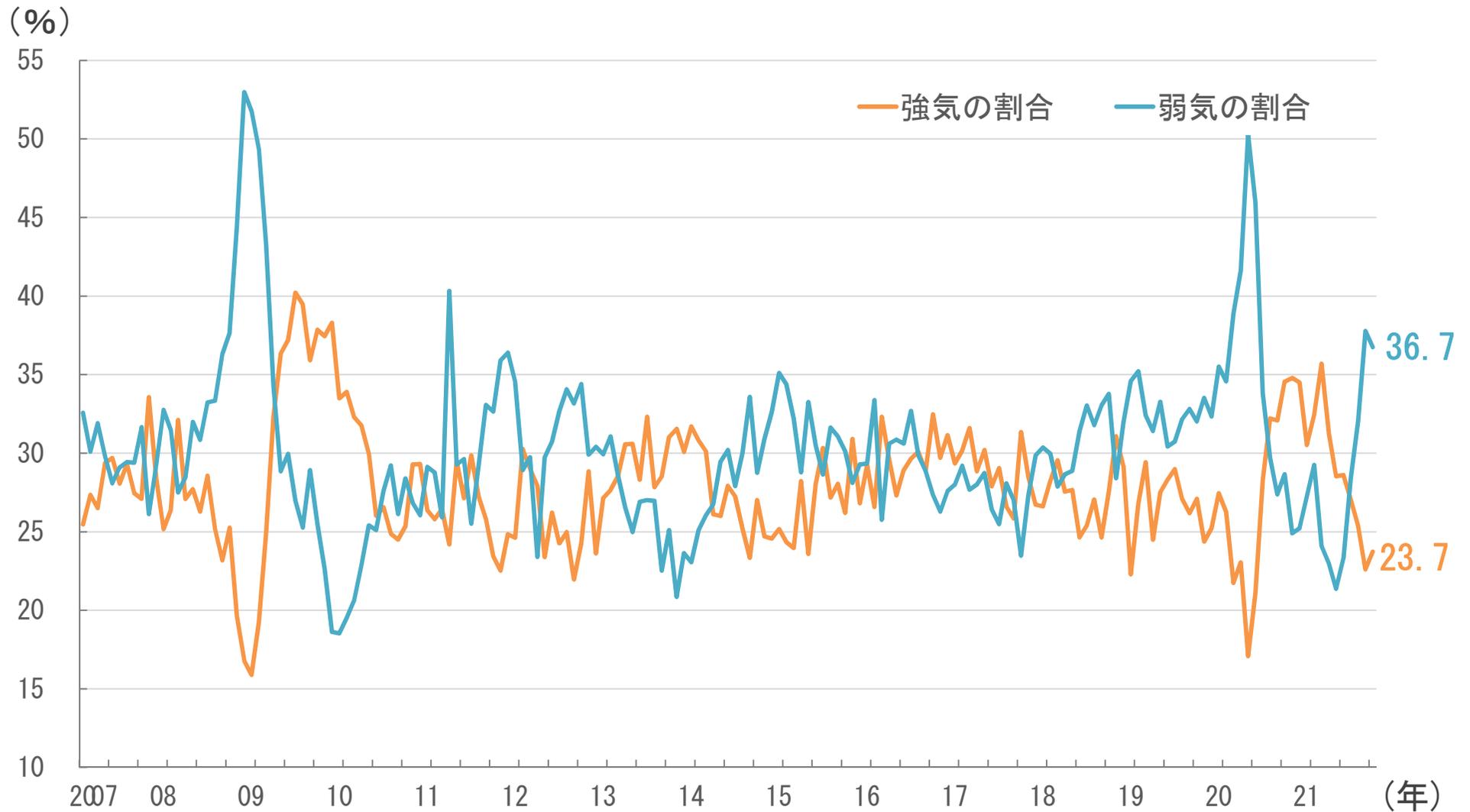
# 企業の生産活動に対する姿勢（生産活動マインド指標（DI））

- ・生産計画を上方修正している企業の割合から下方修正している企業の割合を差し引くことで企業の生産活動マインドを指標（DI）化。
- ・DIのトレンドが-5を下回ると景気後退局面入りの可能性が高い。
- ・10月調査結果のDIは、-13.0（前月の-15.2から上昇）。トレンドは-5を下回る水準。



# 強気と弱気の比率の変化

・10月調査結果のDIの内訳をみると、強気が23.7%、弱気が36.7%となっている。9月と比べて強気の割合は増加し、弱気の割合は減少した。



## 2021年7～9月期(速報)各指数の状況 生産・出荷・在庫・在庫率指数

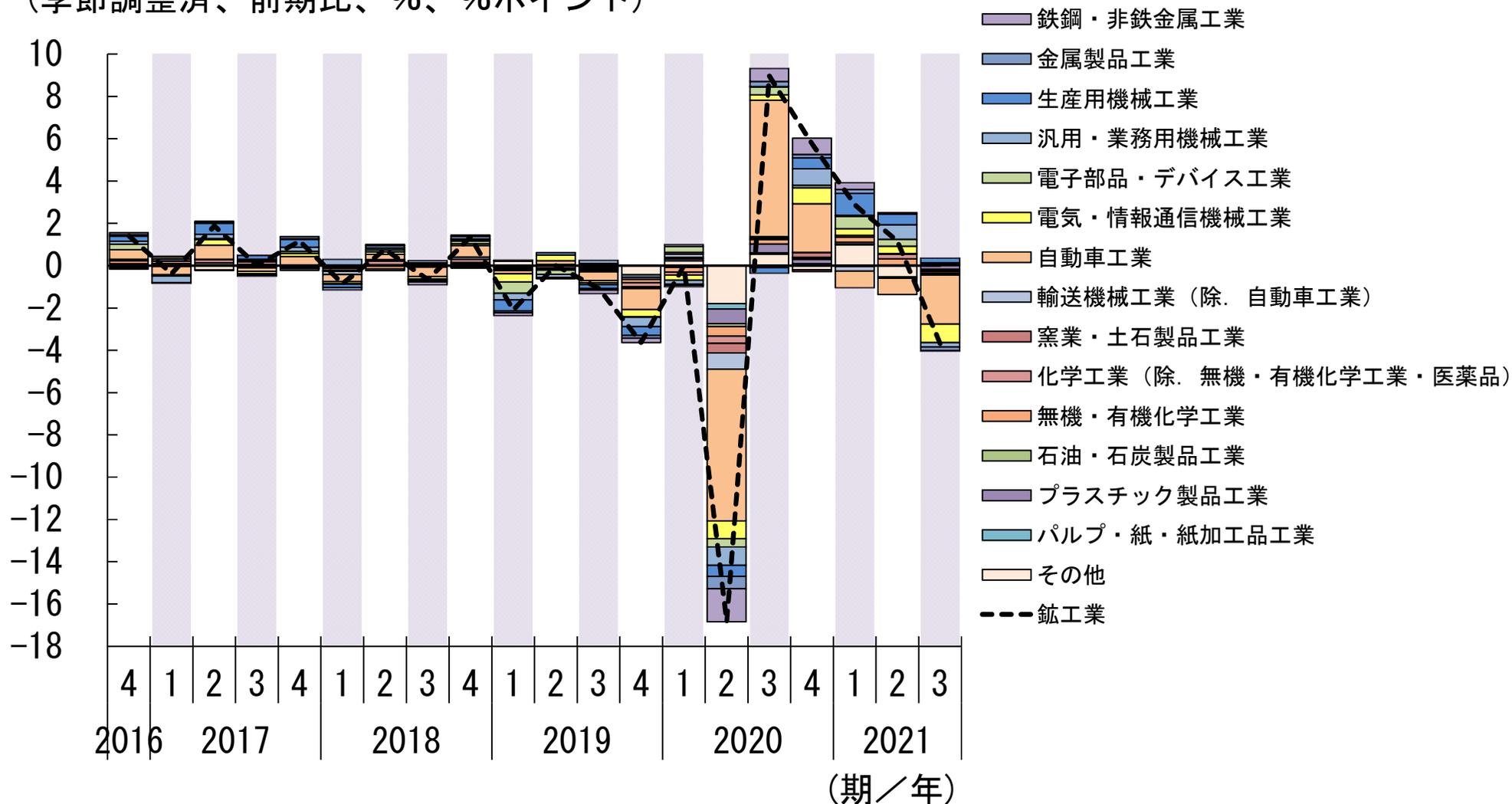
四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	94.1	91.7	98.4	114.6
前期比	-3.7%	-4.1%	2.8%	5.9%
指数水準	2020Ⅳ 93.9以来  ①2020Ⅱ 81.5 ②2020Ⅲ 88.8 ③2020Ⅳ 93.9	2020Ⅲ 87.8以来  ①2020Ⅱ 80.4 ②2020Ⅲ 87.8 ③2021Ⅲ 91.7	2020Ⅱ 100.8以来  Ⅰ2020Ⅰ 105.1 Ⅱ2019Ⅱ 104.4 Ⅲ2019Ⅳ 104.0	2020Ⅳ 114.6以来 (超)2020Ⅲ 124.0以来  Ⅰ2020Ⅱ 142.1 Ⅱ2020Ⅲ 124.0 Ⅲ2020Ⅰ 117.1
前期比の動き	5期ぶり－ (2020Ⅱ以来)	5期ぶり－ (2020Ⅱ以来)	2期連続＋ (2021Ⅱ～当期)	5期ぶり＋ (2020Ⅱ以来)
前期比幅	2020Ⅱ -16.8%以来  ①2020Ⅱ -16.8% ②2021Ⅲ -3.7% ③2019Ⅳ -3.6%	2020Ⅱ -16.9%以来  ①2020Ⅱ -16.9% ②2014Ⅱ, 2021Ⅲ -4.1% ③2019Ⅳ -3.9%	2014Ⅱ 4.7%以来  Ⅰ2014Ⅱ 4.7% Ⅱ2021Ⅲ 2.8% Ⅲ2018Ⅰ 2.5%	2020Ⅱ 21.3%以来  Ⅰ2020Ⅱ 21.3% Ⅱ2014Ⅱ 6.8% Ⅲ2021Ⅲ 5.9%
前年同期比(原指数)	5.8%(93.5)	4.2%(91.2)	0.8%(97.5)	-7.9%(114.9)
前年同期比の動き	2期連続＋ (2021Ⅱ～当期)	2期連続＋ (2021Ⅱ～当期)	6期ぶり＋ (2020Ⅰ以来)	4期連続－ (2020Ⅳ～当期)
前年同期比幅	2021Ⅱ 19.9%以来  Ⅰ2021Ⅱ 19.9% Ⅱ2014Ⅰ 7.7% Ⅲ2021Ⅲ 5.8%	2021Ⅱ 18.8%以来  Ⅰ2021Ⅱ 18.8% Ⅱ2014Ⅰ 6.8% Ⅲ2021Ⅲ 4.2%	2020Ⅰ 2.8%以来  Ⅰ2014Ⅳ 5.9% Ⅱ2015Ⅰ 5.2% Ⅲ2018Ⅰ 5.1%	2021Ⅱ -24.0%以来  ①2021Ⅱ -24.0% ②2014Ⅰ -9.2% ③2021Ⅲ -7.9%

1) Ⅰ～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 鉱工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

・ 2021年7-9月期の生産指数は、生産用機械工業などが上昇したものの、自動車工業などが低下したため、前期比-3.7%と低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



# サービス産業活動図表集

2021年9月の第3次産業活動指数の状況

2021 年 11 月 16 日

URL:<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-1.html>

# 2021年9月の第3次産業活動指数の状況

月次	第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
季調済指数	96.0	93.7	97.8
前月比	0.5%	2.3%	-0.7%
指数水準	2021.7 96.6以来  I 2019.9 106.4 II 2019.1,4 103.8 III 2018.10 103.6	2021.7 93.9以来  I 2019.9 106.0 II 2014.3 103.1 III 2019.1 102.9	2021.5 97.4以来  ①2020.5 91.0 ②2020.4 95.7 ③2020.6 96.4
前月比の動き	3か月ぶり+ (2021.6以来)	3か月ぶり+ (2021.6以来)	2か月連続- (2021.8~当月)
前月比幅	2021.6 2.2%以来  I 2020.6 8.8% II 2014.3 3.0% III 2019.9 2.9%	2021.6 2.5%以来  I 2020.6 13.8% II 2014.3 3.5% III 2019.9 3.1%	2021.8 -1.4%以来  ①2014.4 -6.9% ②2019.10 -6.1% ③2020.4 -5.6%
原指数	97.0	92.3	101.6
前年同月比	-1.0%	-2.2%	0.1%
前年同月比の動き	7か月ぶり- (2021.2以来)	2か月連続- (2021.8~当月)	7か月連続+ (2021.3~当月)
前年同月比幅	2021.2 -5.6%以来  ①2020.5 -17.4% ②2020.4 -13.8% ③2020.7 -8.9%	2021.2 -7.7%以来  ①2020.5 -20.9% ②2020.4 -18.9% ③2020.6 -9.6%	2021.8 1.8%以来  I 2021.5 7.1% II 2021.4 5.5% III 2019.9 5.0%

1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値



# 2021年9月

## 「第3次産業活動は、足踏みのなかに弱さがみられる」

### 基調判断の推移

- ・2018年4月～8月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・2018年9月 「足踏みがみられる」
- ・2018年10月～2019年2月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・2019年3月～6月  
「持ち直しの動きにあるが、一部に弱さがみられる」
- ・2019年7月 「高い水準で横ばい」
- ・2019年8月～9月 「持ち直しの動きがみられる」
- ・2019年10月～2020年1月 「足踏みがみられる」
- ・2020年2月 「足踏みのなかに弱さがみられる」
- ・2020年3月～4月 「急落している」
- ・2020年5月 「引き続き低落している」
- ・2020年6月～7月 「底打ちの動き」
- ・2020年8月～9月 「持ち直しの動き」
- ・2020年10月 「持ち直している」
- ・2020年11月  
「持ち直しているものの、一部に足踏みがみられる」
- ・2020年12月  
「持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」
- ・2021年1月～4月 「足踏みがみられる」
- ・2021年5月 「足踏みのなかに弱さがみられる」
- ・2021年6月～7月 「足踏みがみられる」
- ・2021年8月  
「足踏みのなかに弱さがみられる」

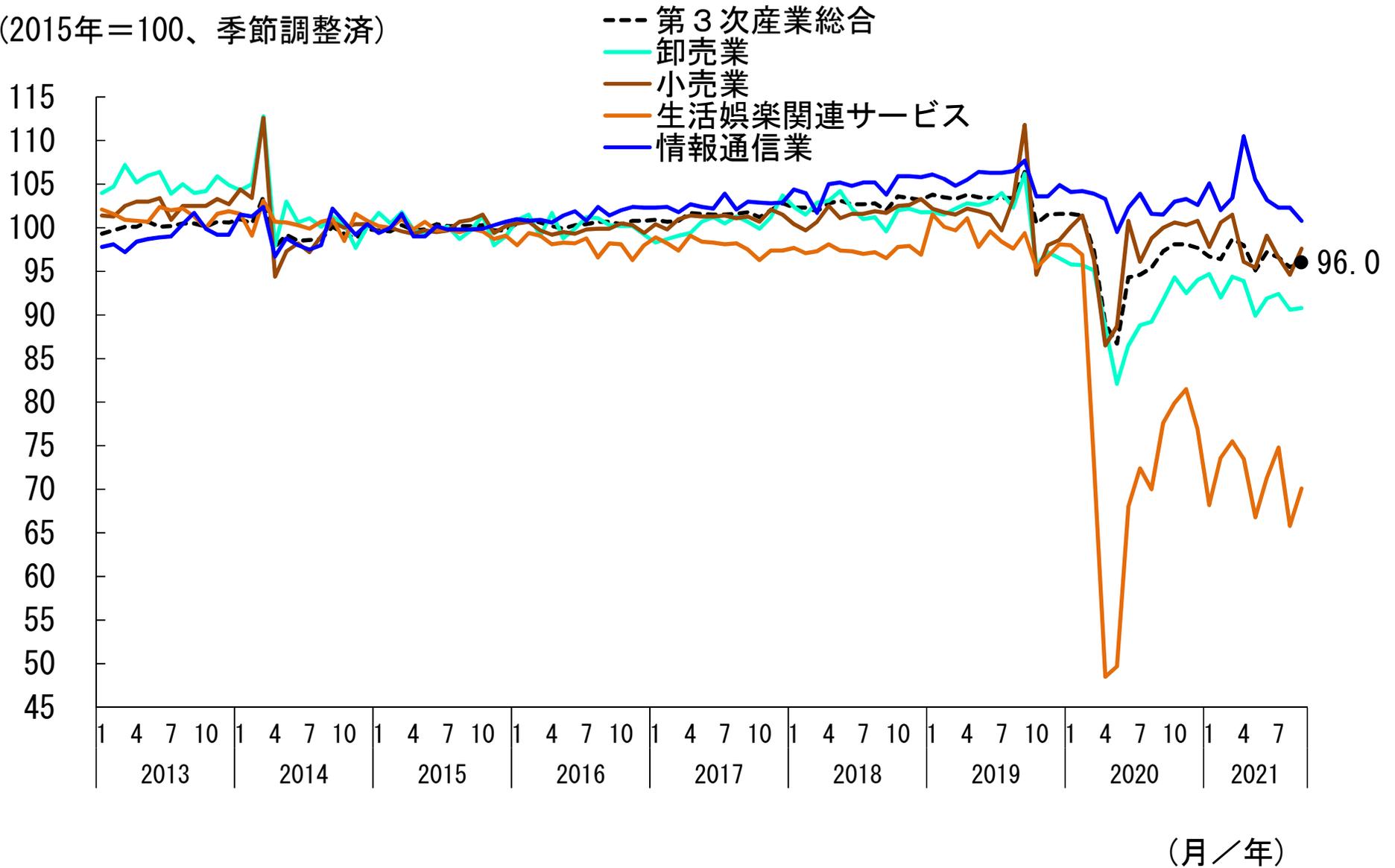
(2015年=100、季節調整済)

		第3次産業 総合	
			前期比 (%)
2018年	Ⅳ期	103.4	0.9
2019年	Ⅰ期	103.5	0.1
	Ⅱ期	103.6	0.1
	Ⅲ期	104.4	0.8
	Ⅳ期	101.2	-3.1
2020年	Ⅰ期	100.1	-1.1
	Ⅱ期	90.0	-10.1
	Ⅲ期	95.8	6.4
	Ⅳ期	98.0	2.3
2021年	Ⅰ期	97.3	-0.7
	Ⅱ期	96.8	-0.5
	Ⅲ期	96.0	-0.8

		第3次産業 総合		後方3か月 移動平均	
			前期比 (%)		前期比 (%)
2018年	10月	103.6	1.6	102.8	0.3
	11月	103.4	-0.2	103.0	0.2
	12月	103.2	-0.2	103.4	0.4
2019年	1月	103.8	0.6	103.5	0.1
	2月	103.5	-0.3	103.5	0.0
	3月	103.3	-0.2	103.5	0.0
	4月	103.8	0.5	103.5	0.0
	5月	103.5	-0.3	103.5	0.0
	6月	103.4	-0.1	103.6	0.1
	7月	103.4	0.0	103.4	-0.2
	8月	103.4	0.0	103.4	0.0
	9月	106.4	2.9	104.4	1.0
	10月	100.5	-5.5	103.4	-1.0
	11月	101.5	1.0	102.8	-0.6
	12月	101.6	0.1	101.2	-1.6
2020年	1月	101.6	0.0	101.6	0.4
	2月	101.4	-0.2	101.5	-0.1
	3月	97.4	-3.9	100.1	-1.4
	4月	89.0	-8.6	95.9	-4.2
	5月	86.7	-2.6	91.0	-5.1
	6月	94.3	8.8	90.0	-1.1
	7月	94.6	0.3	91.9	2.1
	8月	95.4	0.8	94.8	3.2
	9月	97.3	2.0	95.8	1.1
	10月	98.1	0.8	96.9	1.1
	11月	98.1	0.0	97.8	0.9
	12月	97.7	-0.4	98.0	0.2
2021年	1月	96.7	-1.0	97.5	-0.5
	2月	96.4	-0.3	96.9	-0.6
	3月	98.7	2.4	97.3	0.4
	4月	98.0	-0.7	97.7	0.4
	5月	95.1	-3.0	97.3	-0.4
	6月	97.2	2.2	96.8	-0.5
	7月	96.6	-0.6	96.3	-0.5
	8月	95.5	-1.1	96.4	0.1
	9月	96.0	0.5	96.0	-0.4

# 第3次産業活動指数の主要業種の動向

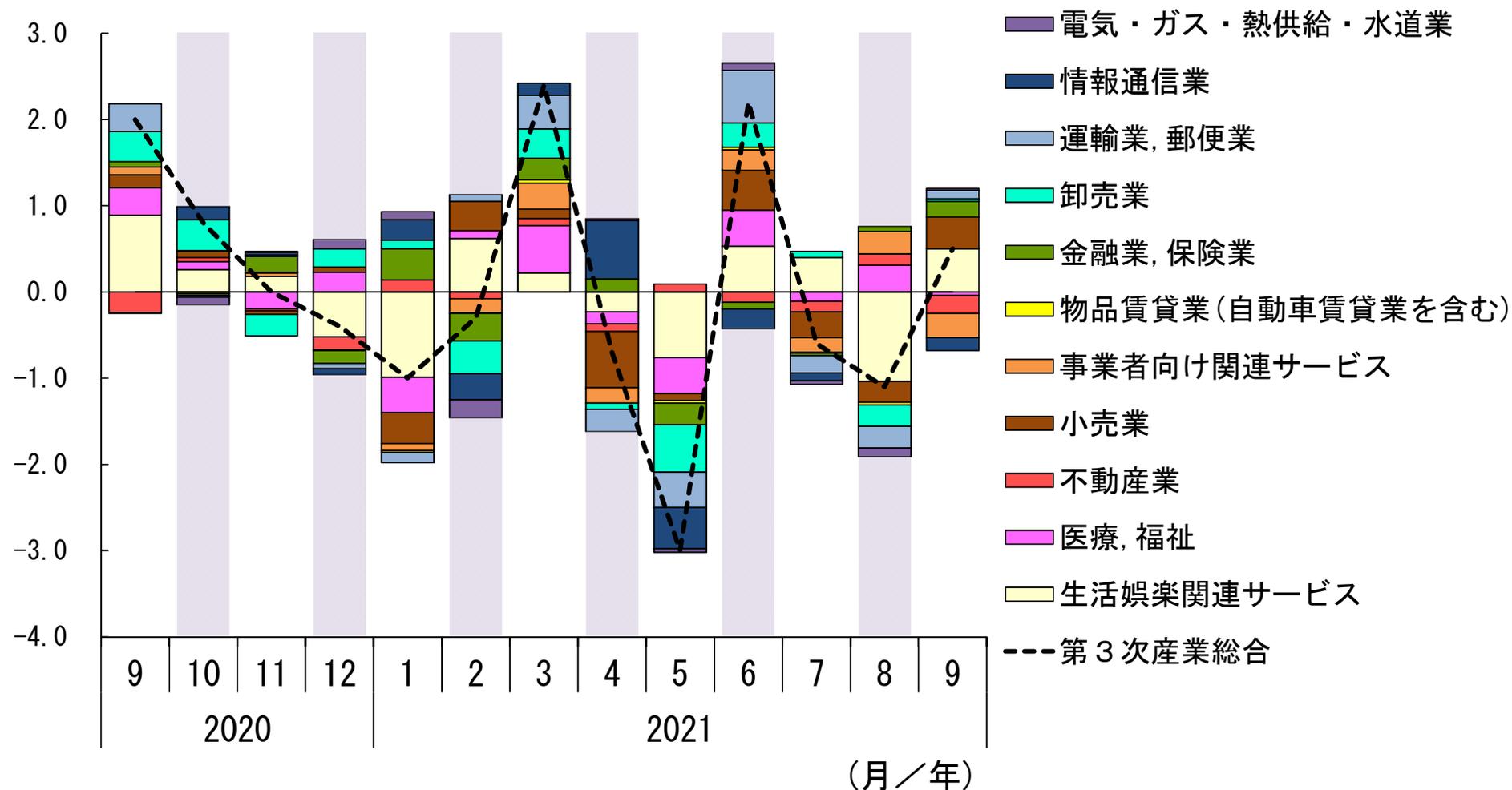
(2015年=100、季節調整済)



## 第3次産業活動指数前月比 業種別の影響度合い

・2021年9月の第3次産業活動指数は、事業者向け関連サービスなどが低下したものの、生活娯楽関連サービスなどが上昇したため、前月比0.5%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



## 第3次産業活動指数を大きく動かした個別系列

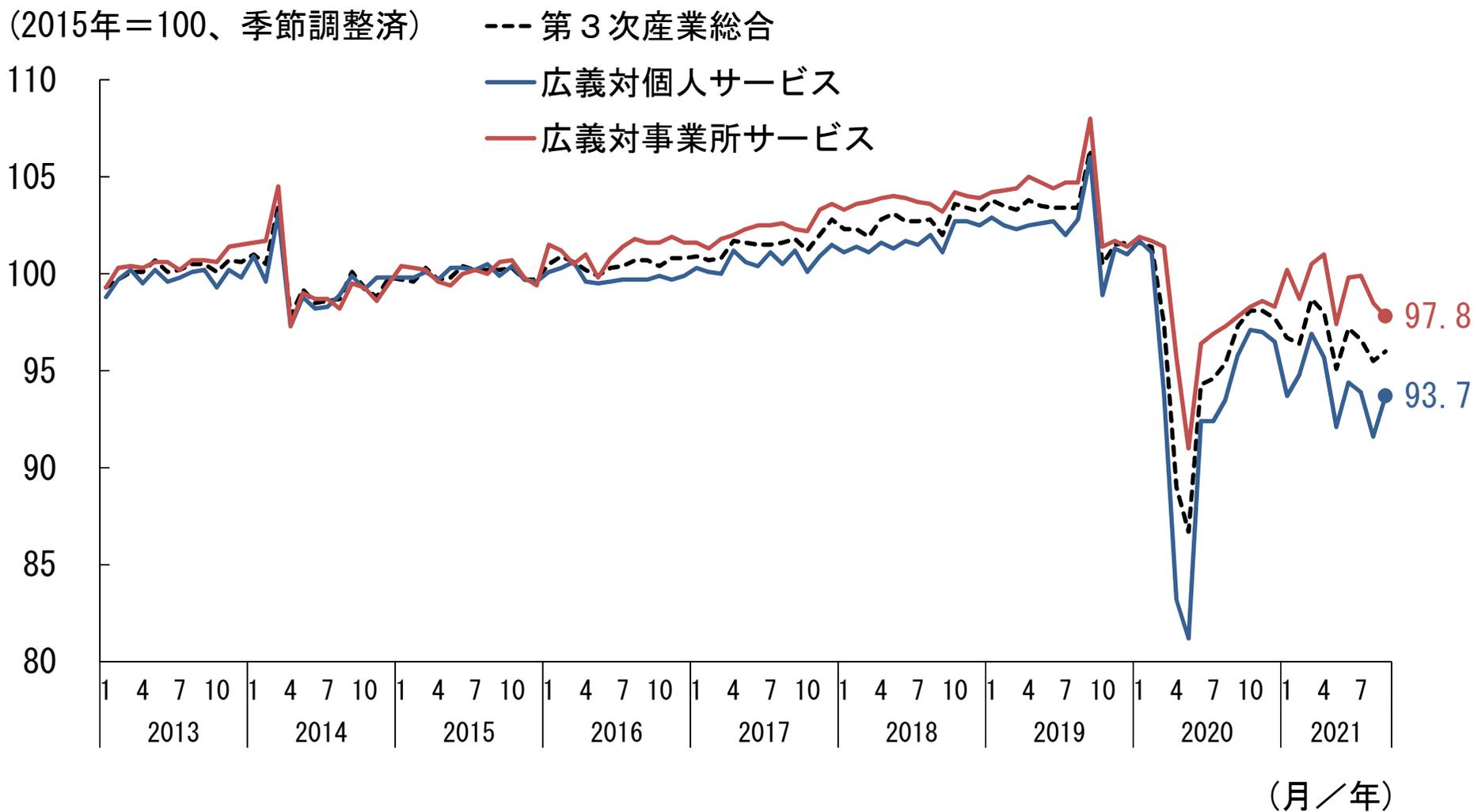
・ 2021年9月の第3次産業活動指数は、96.0(前月比0.5%)と3か月ぶりの上昇。

		業種名	前月比	寄与度
○ 第3次産業総合を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	生活娯楽関連サービス	6.5%	0.50%pt
	内訳業種	娯楽業	11.1%	0.18%pt
		洗濯・理容・美容・浴場業	6.3%	0.06%pt
	2位の業種	小売業	3.2%	0.37%pt
	内訳業種	織物・衣服・身の回り品小売業	15.3%	0.14%pt
		その他の小売業(別掲を除く住関連)	4.0%	0.13%pt
3位の業種	金融業, 保険業	1.9%	0.18%pt	
内訳業種	金融商品取引業, 商品先物取引業	28.7%	0.21%pt	
	銀行業・協同組織金融業	0.8%	0.04%pt	
○ 第3次産業総合を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	事業者向け関連サービス	-2.9%	-0.28%pt
	内訳業種	土木・建築サービス業	-3.8%	-0.04%pt
		広告業	-5.2%	-0.04%pt
	2位の業種	不動産業	-2.5%	-0.21%pt
	内訳業種	不動産取引業	-2.7%	-0.04%pt
	3位の業種	情報通信業	-1.5%	-0.15%pt
内訳業種	情報サービス業	-4.3%	-0.20%pt	

寄与度：第3次産業全体の変動に対して影響を及ぼした、各業種の影響の度合い。上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きが横ばいの場合でも季節調整の関係で両者が一致しないことがある

# 広義対個人サービス／広義対事業所サービス活動指数の動向

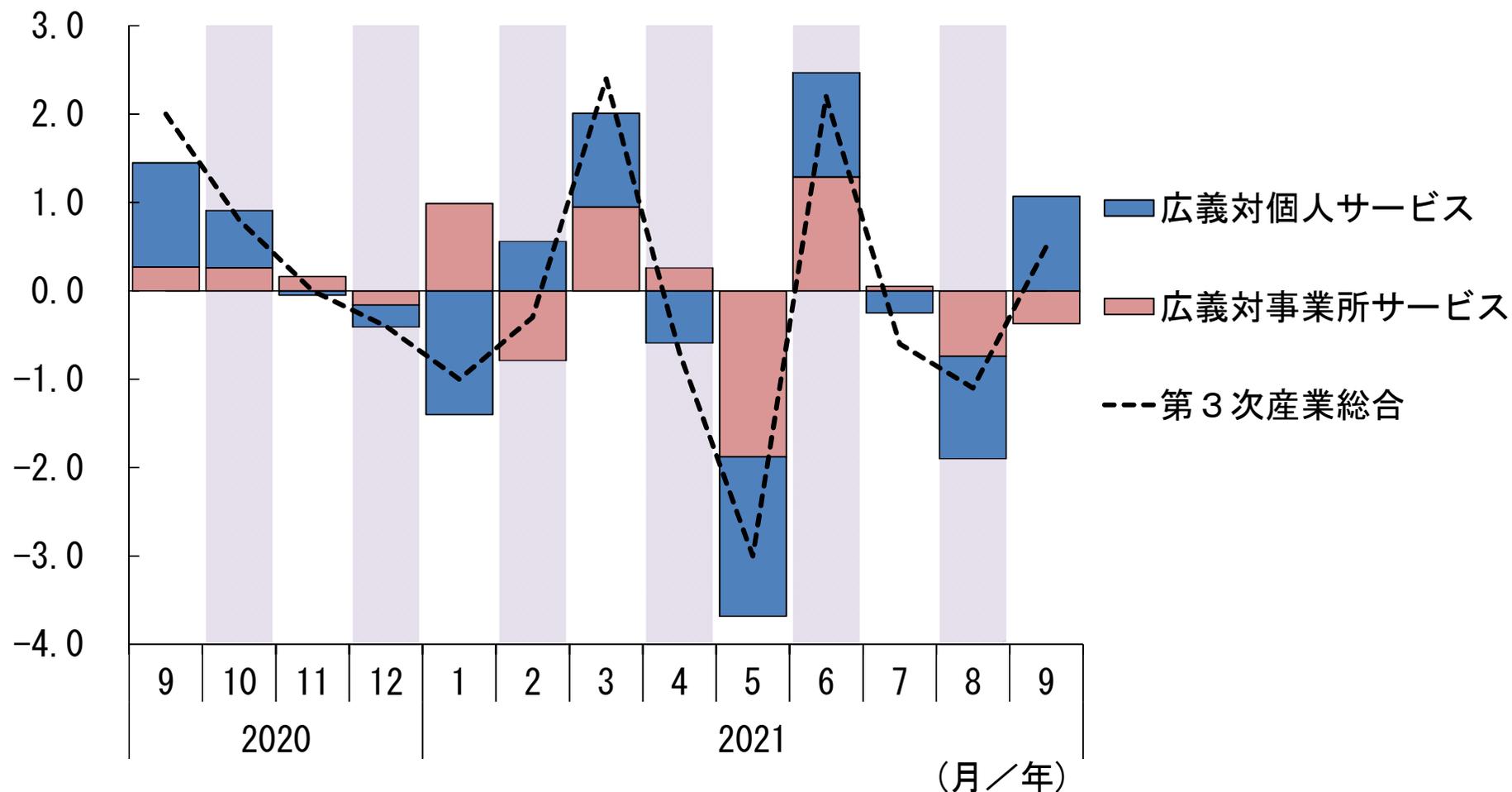
- ・ 2021年9月の広義対個人サービス活動指数は、93.7(前月比2.3%)と3か月ぶりの上昇。
- ・ 広義対事業所サービス活動指数は、97.8(同-0.7%)と2か月連続の低下。



## 第3次産業総合前月比 広義対個人／広義対事業所サービスの影響度合い

- 2021年9月の第3次産業活動指数は、前月比0.5%の上昇。広義対事業所サービスが低下したものの、広義対個人サービスが上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)

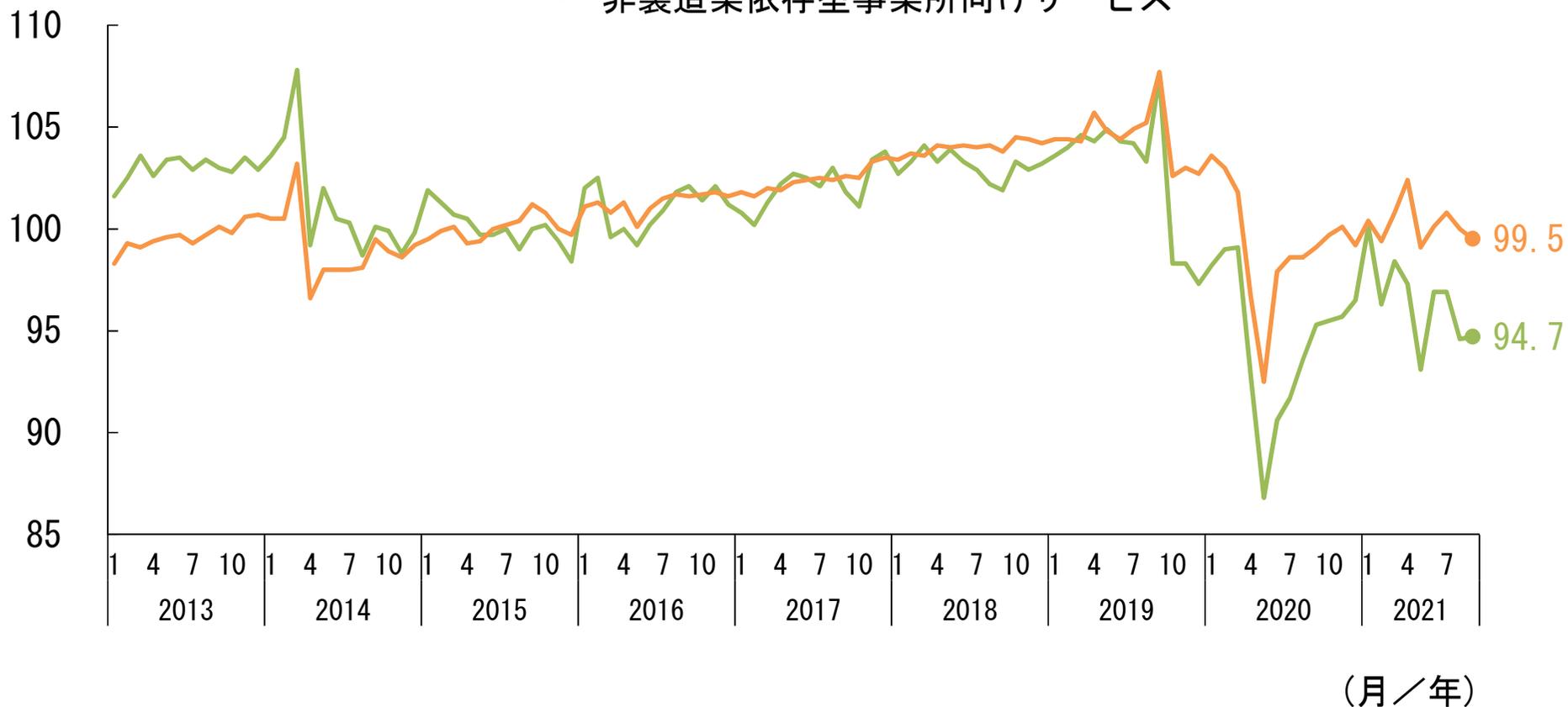


# 製造業／非製造業依存型 事業所向けサービス活動指数の動向

- ・製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、94.7(前月比0.1%)と3か月ぶりの上昇。
- ・非製造業依存型事業所向けサービス活動指数は、99.5(同-0.5%)と2か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

— 製造業依存型事業所向けサービス  
— 非製造業依存型事業所向けサービス

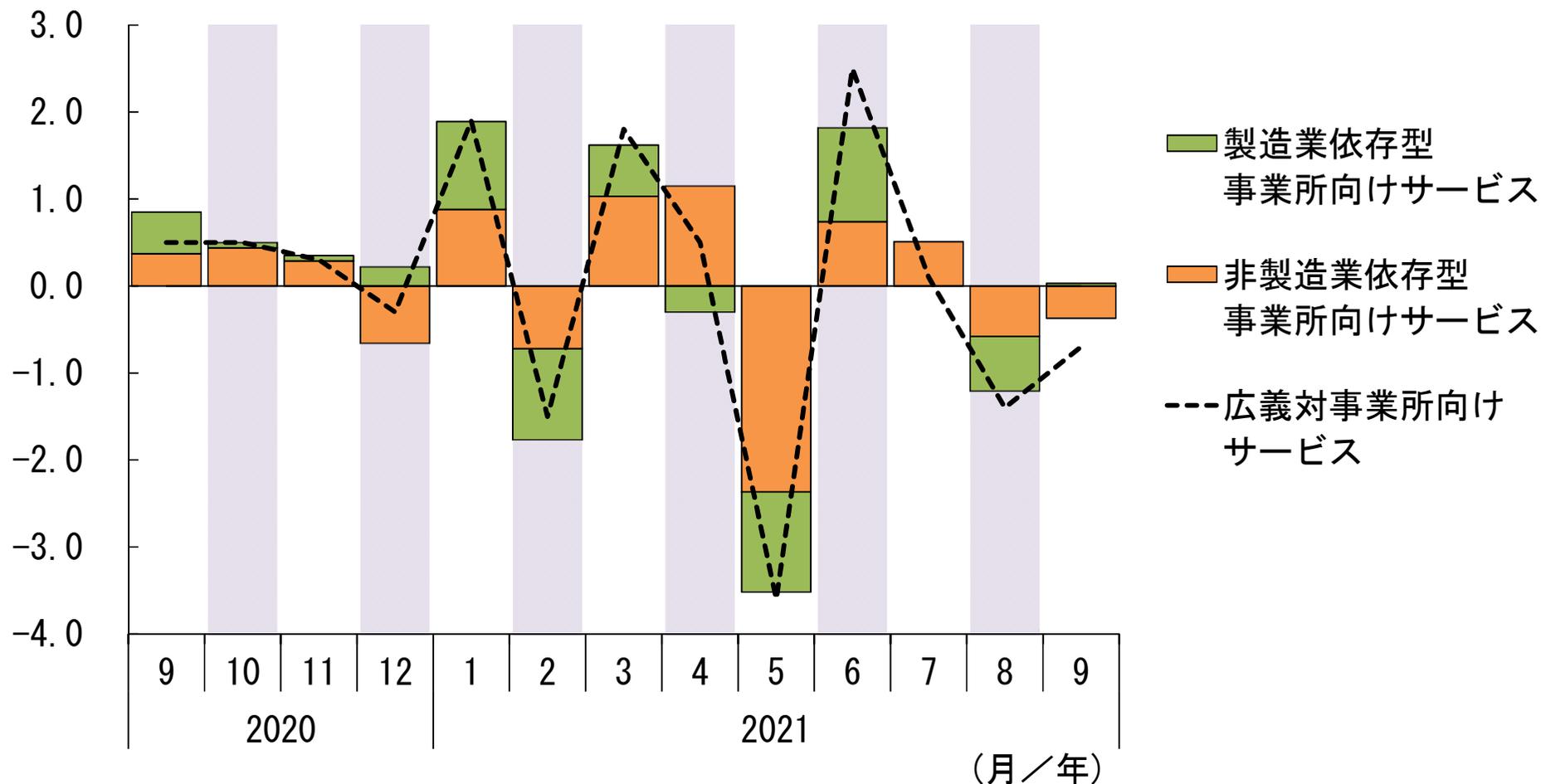


(注) 広義対事業所サービスの内訳系列を、産業連関表の製造業と非製造業の投入比率の大小により、「製造業依存型」と「非製造業依存型」の二つに分類している

# 広義対事業所向けサービス活動前月比 製造業／非製造業依存型事業所向けサービス別の影響度合い

- 2021年9月の広義対事業所サービス活動指数は、前月比-0.7%と低下。製造業依存型事業所向けサービスが上昇したものの、非製造業依存型事業所向けサービスが低下。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



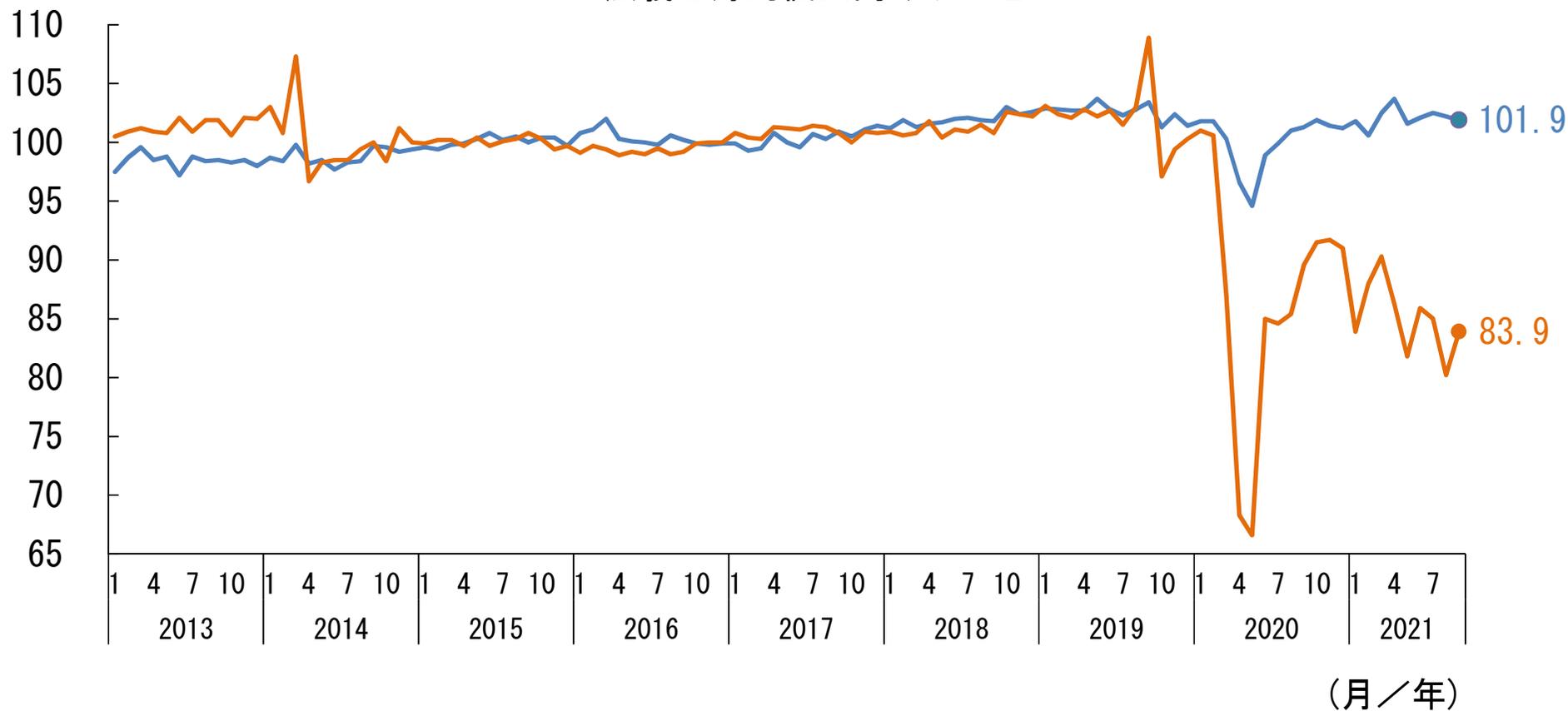
## 非選択的／し好的 個人向けサービス活動指数の動向

- ・2021年9月の広義非選択的個人向けサービス活動指数は、101.9(前月比-0.3%)と2か月連続の低下。
- ・広義し好的個人向けサービス活動指数は、83.9(同4.6%)と3か月ぶりの上昇。

(2015年=100、季節調整済)

— 広義非選択的個人向けサービス

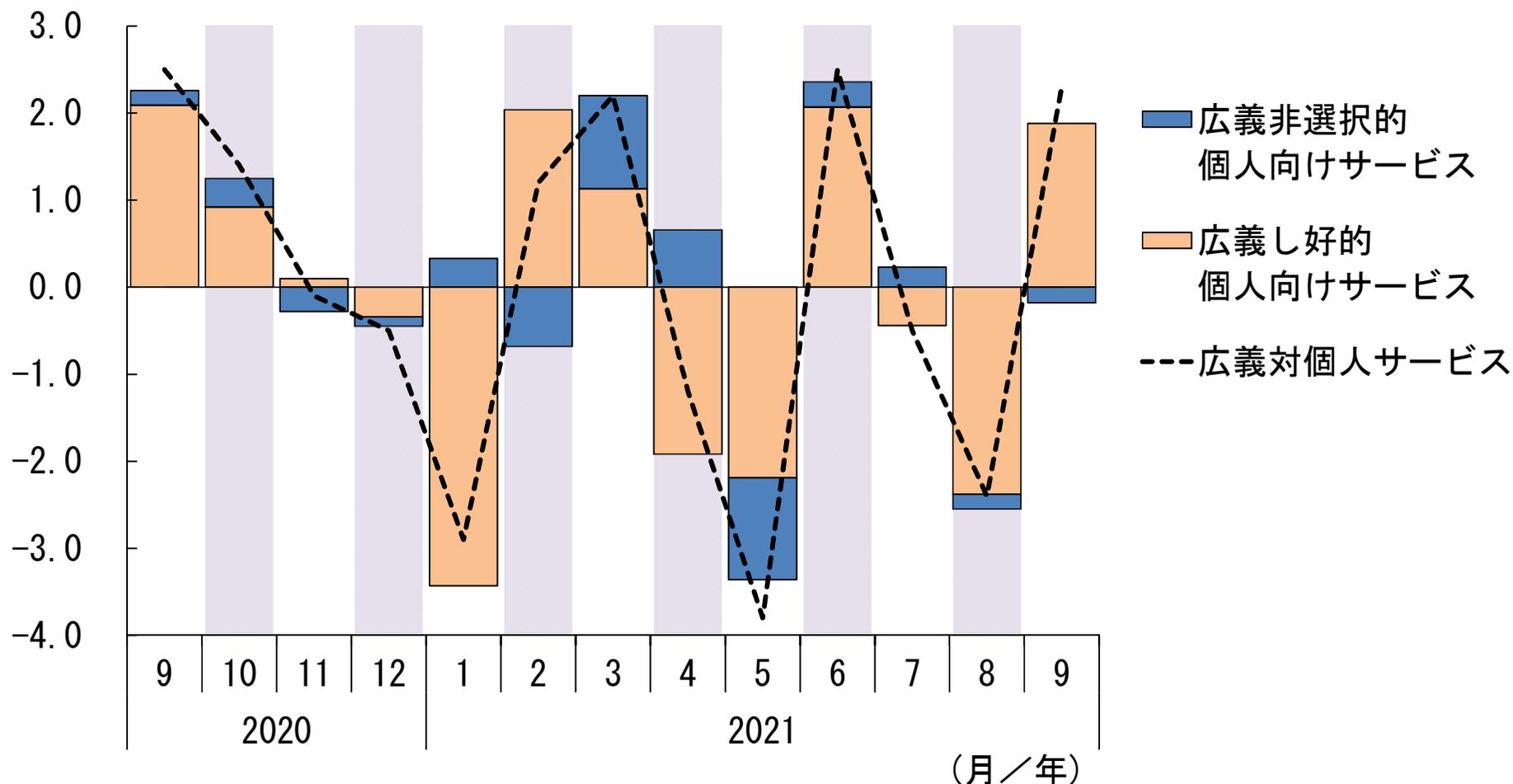
— 広義し好的個人向けサービス



# 広義対個人サービス活動前月比 非選択的／し好的個人向けサービス別の影響度合い

- 2021年9月の広義対個人サービス活動指数は、前月比2.3%の上昇。広義非選択的個人向けサービスが低下したものの、広義し好的個人向けサービスが上昇。

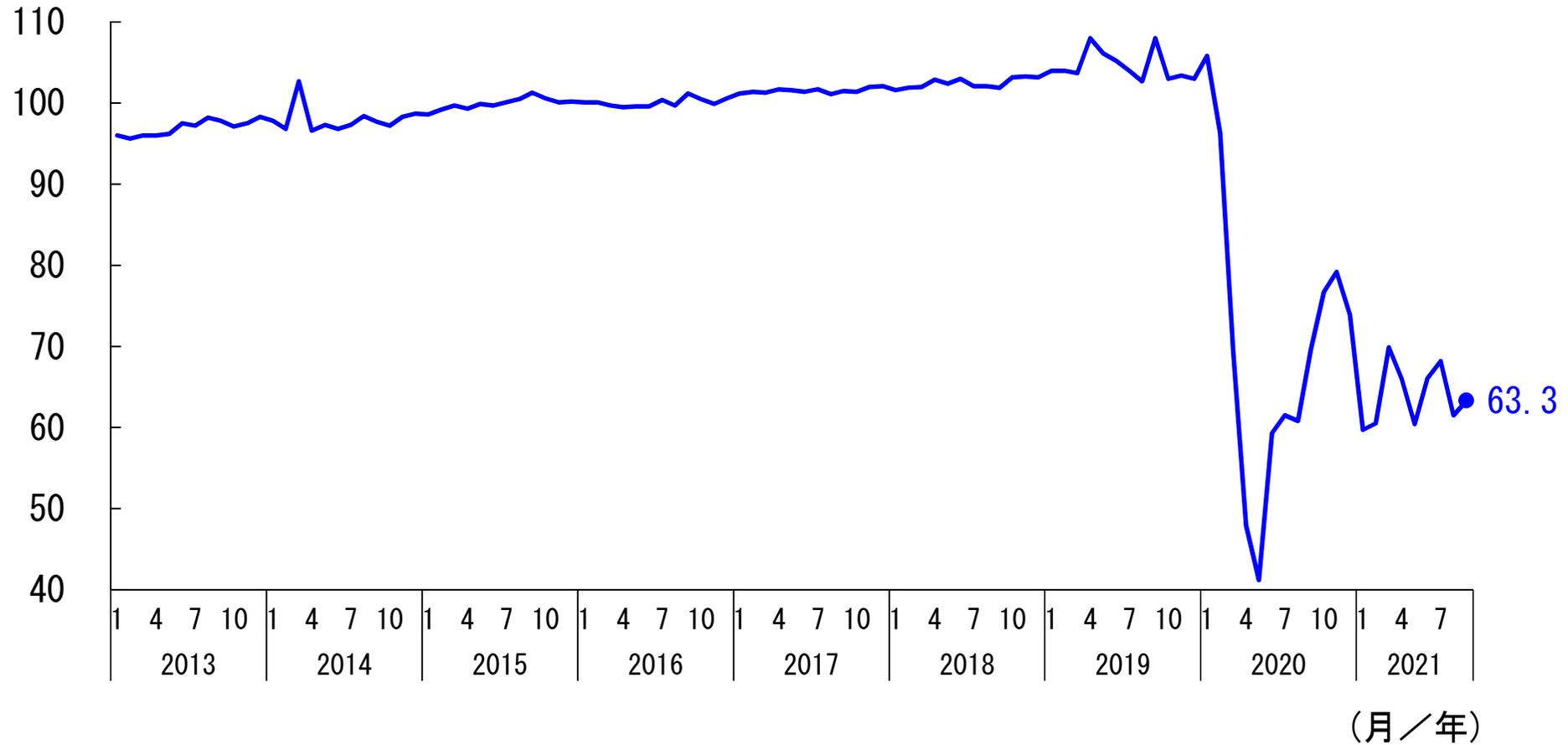
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



# 観光関連産業活動指数の動向

・ 2021年9月の観光関連産業活動指数は、63.3(前月比2.9%)と2か月ぶりの上昇。

(2015年=100、季節調整済)

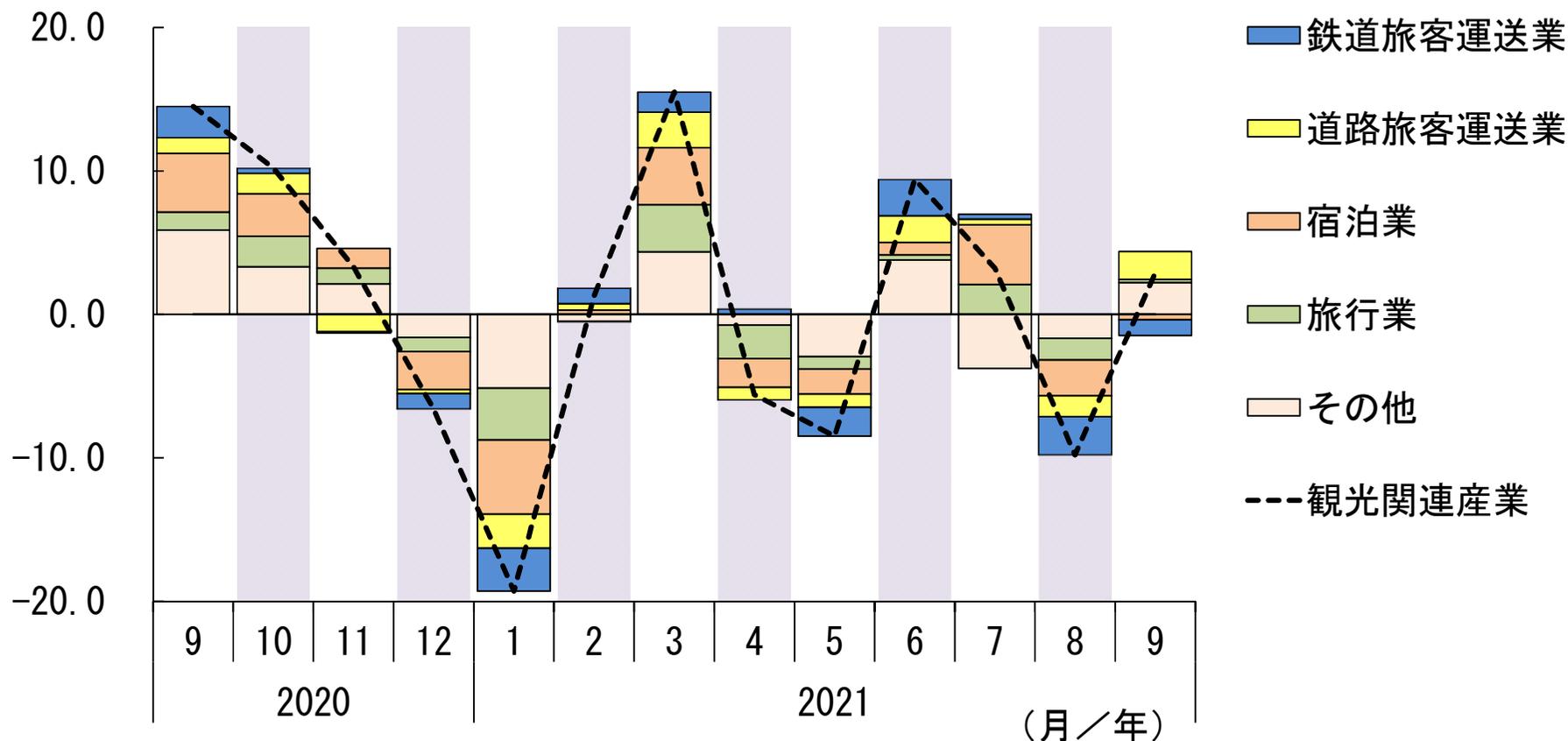


(注)観光関連産業活動指数は、鉄道、バス、タクシー、飛行機、船舶等の旅客運送業、道路施設提供業(高速道路)、旅館、ホテル等の宿泊業、旅行業、遊園地・テーマパークが含まれる

# 観光関連産業活動指数 業種別の影響度合い

・2021年9月の観光関連産業活動指数は、鉄道旅客運送業などが低下したものの、道路旅客運送業などが上昇したため、前月比2.9%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



(注) 当該寄与度分析は、観光関連産業活動指数の作成に使用している末端系列を集約して5分類業種としたものを使って行っている  
 季節調整値は、季節調整方法の影響により、末端系列を積み上げても上位系列とは一致しないため、季節調整値については、末端系列を使って寄与度分解を行った場合と、集約した業種を使って寄与度分解した場合とは結果が異なる  
 また、「その他」については、他の4業種と観光関連産業活動指数の差分から算出しているため、実際に、「その他」の寄与度を計算した結果とは異なる数値となっている

## 2021年7～9月期の第3次産業活動指数の状況

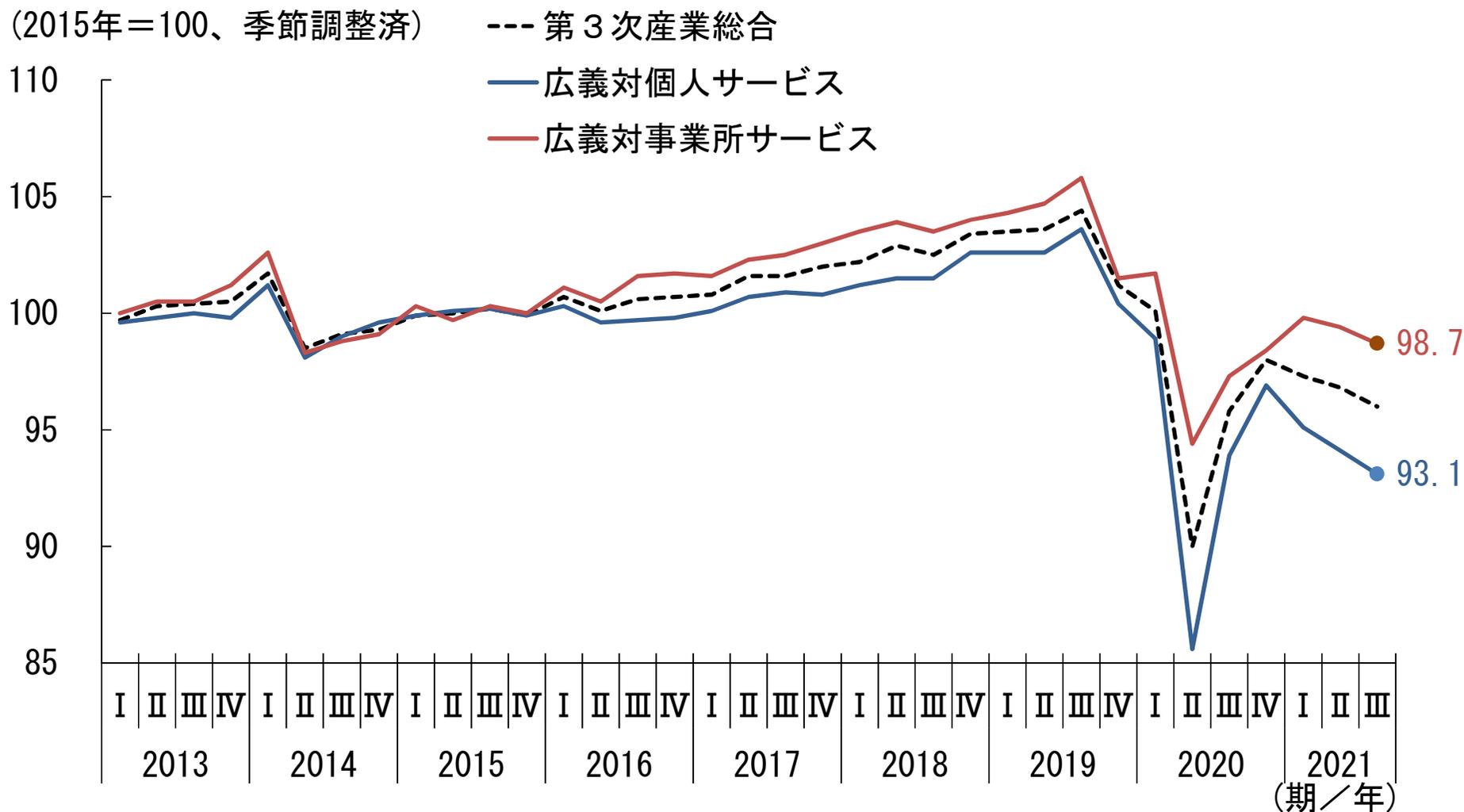
四半期	第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
季調済指数	96.0	93.1	98.7
前期比	-0.8%	-1.1%	-0.7%
指数水準	2020Ⅲ 95.8以来  ①2020Ⅱ 90.0 ②2020Ⅲ 95.8 ③2021Ⅲ 96.0	2020Ⅱ 85.6以来  ①2020Ⅱ 85.6 ②2021Ⅲ 93.1 ③2020Ⅲ 93.9	2020Ⅳ 98.4以来  ①2020Ⅱ 94.4 ②2020Ⅲ 97.3 ③2014Ⅱ 98.3
前期比の動き	3期連続－ (2021Ⅰ～当期)	3期連続－ (2021Ⅰ～当期)	2期連続－ (2021Ⅱ～当期)
前期比幅	2020Ⅱ -10.1%以来  ①2020Ⅱ -10.1% ②2014Ⅱ, 2019Ⅳ -3.1% ③2020Ⅰ -1.1%	2021Ⅱ -1.1%以来 2021Ⅰ (超)-1.9%以来  ①2020Ⅱ -13.4% ②2014Ⅱ, 2019Ⅳ -3.1% ③2021Ⅰ -1.9%	2020Ⅱ -7.2%以来  ①2020Ⅱ -7.2% ②2014Ⅱ -4.2% ③2019Ⅳ -4.1%
原指数	95.9	93.6	98.1
前年同期比	0.3%	-0.8%	1.4%
前年同期比の動き	2期連続＋ (2021Ⅱ～当期)	2期ぶり－ (2021Ⅰ以来)	2期連続＋ (2021Ⅱ～当期)
前年同期比幅	2021Ⅱ 7.5%以来  Ⅰ2021Ⅱ 7.5% Ⅱ2014Ⅰ 2.2% Ⅲ2019Ⅲ 1.9%	2021Ⅰ -4.1%以来  ①2020Ⅱ -16.5% ②2020Ⅲ -9.2% ③2021Ⅰ -4.1%	2021Ⅱ 5.3%以来  Ⅰ2021Ⅱ 5.3% Ⅱ2014Ⅰ 2.7% Ⅲ2019Ⅲ 2.1%

1) Ⅰ～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

## 第3次産業活動指数の動向（四半期）

- ・ 2021年7-9月期の広義対個人サービス活動指数は、93.1（前期比-1.1%）と3期連続の低下。
- ・ 広義対事業所サービス活動指数は、98.7（同-0.7%）と2期連続の低下。

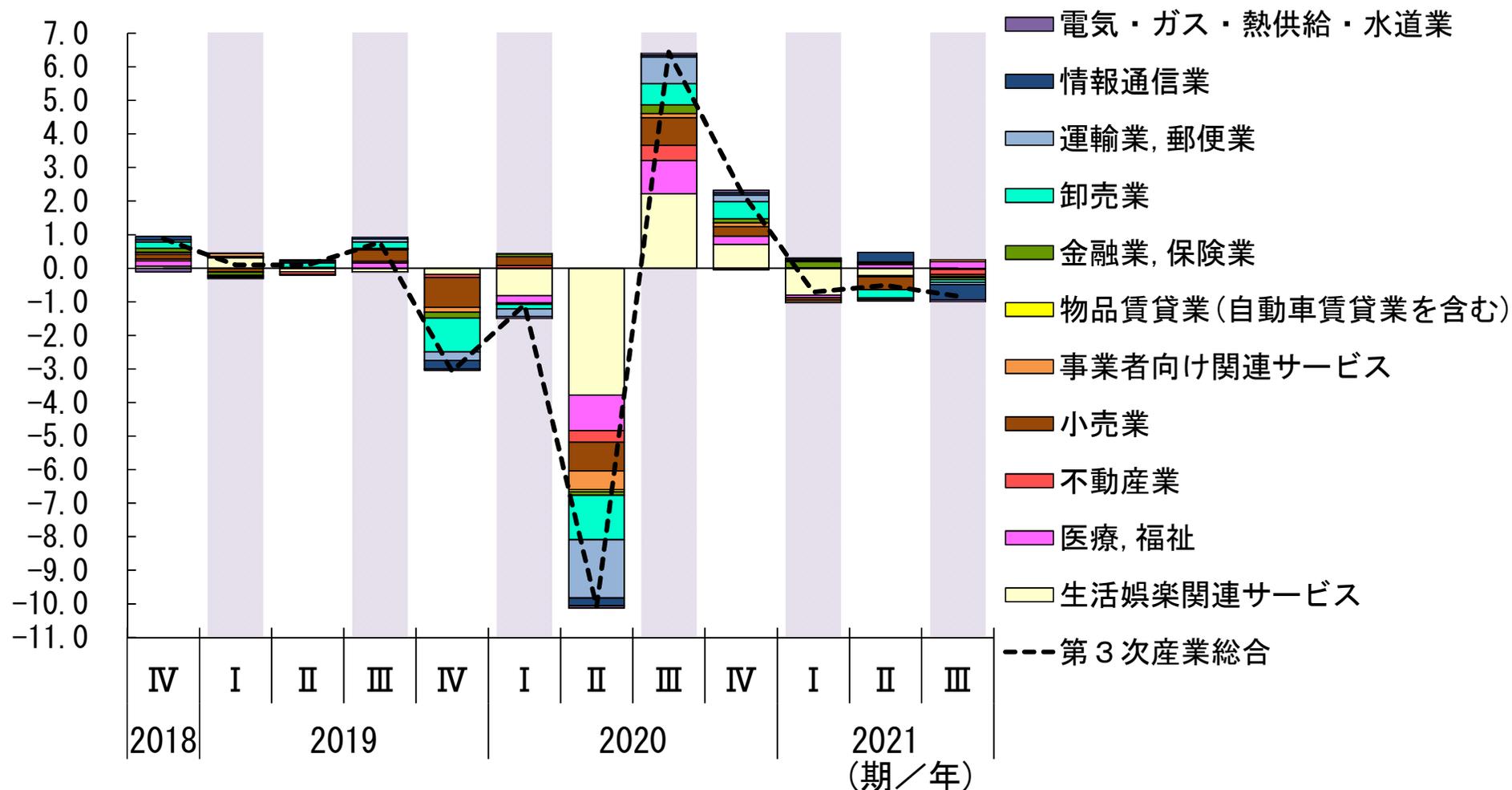
(2015年=100、季節調整済)



## 第3次産業活動指数前期比 業種別の影響度合い

・2021年7-9月期の第3次産業活動指数は、医療、福祉などが上昇したものの、情報通信業などが低下したため、前期比-0.8%と低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



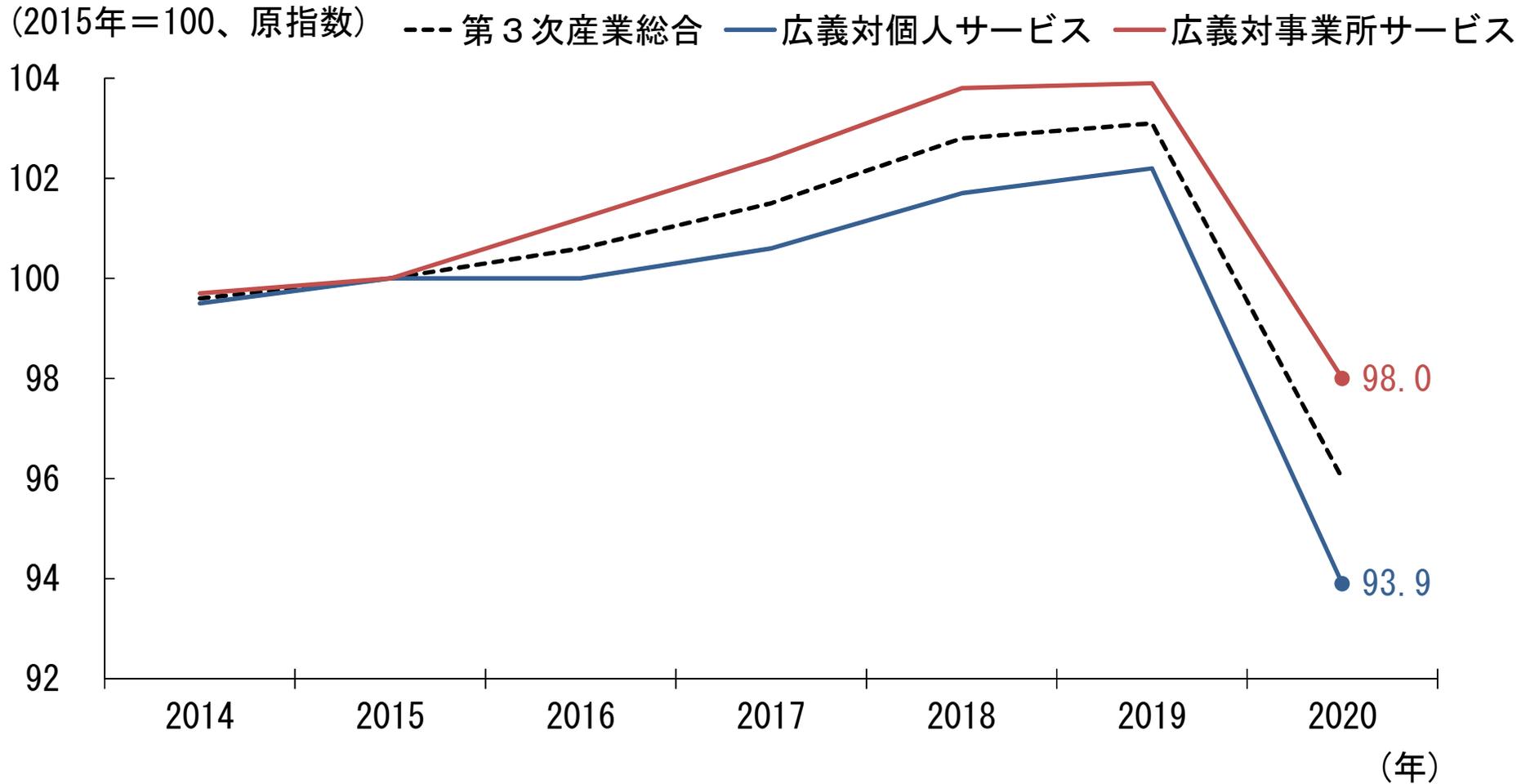
## 2020年の第3次産業活動指数の状況

年次	第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
原指数	96.0	93.9	98.0
前年比	-6.9%	-8.1%	-5.7%
指数水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準
	①2020                      96.0 ②2014                      99.6 ③2015                      100.0	①2020                      93.9 ②2014                      99.5 ③2013                      99.7	①2020                      98.0 ②2014                      99.7 ③2015                      100.0
前年比の動き	6年ぶりー (2014以来)	6年ぶりー (2014以来)	6年ぶりー (2014以来)
前年比幅	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準	2015年基準最低水準
	①2020                      -6.9% ②2014                      -0.6% —	①2020                      -8.1% ②2014                      -0.2% —	①2020                      -5.7% ②2014                      -0.9% —

1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

## 第3次産業活動指数の動向（年）

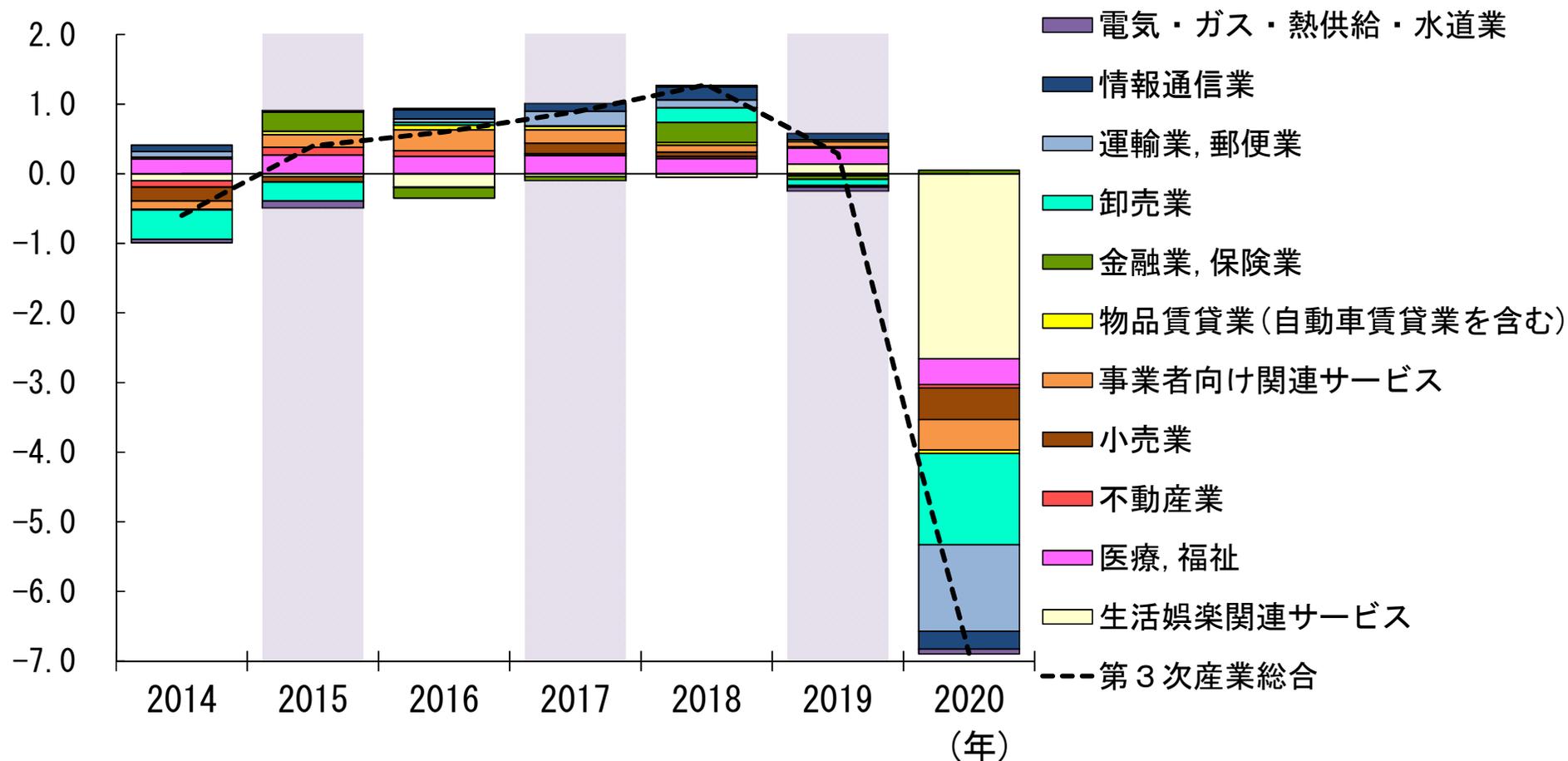
- ・ 2020年の広義対個人サービス活動指数は、93.9（前年比－8.1％）と6年ぶりの低下。
- ・ 広義対事業所サービス活動指数は、98.0（同－5.7％）と6年ぶりの低下。



## 第3次産業活動指数前年比 業種別の影響度合い

・2020年の第3次産業活動指数は、金融業、保険業が上昇したものの、生活娯楽関連サービスなどが低下したため、前年比-6.9%と低下。

(原指数、前年比、%、%ポイント)



# ウッドショックの現状

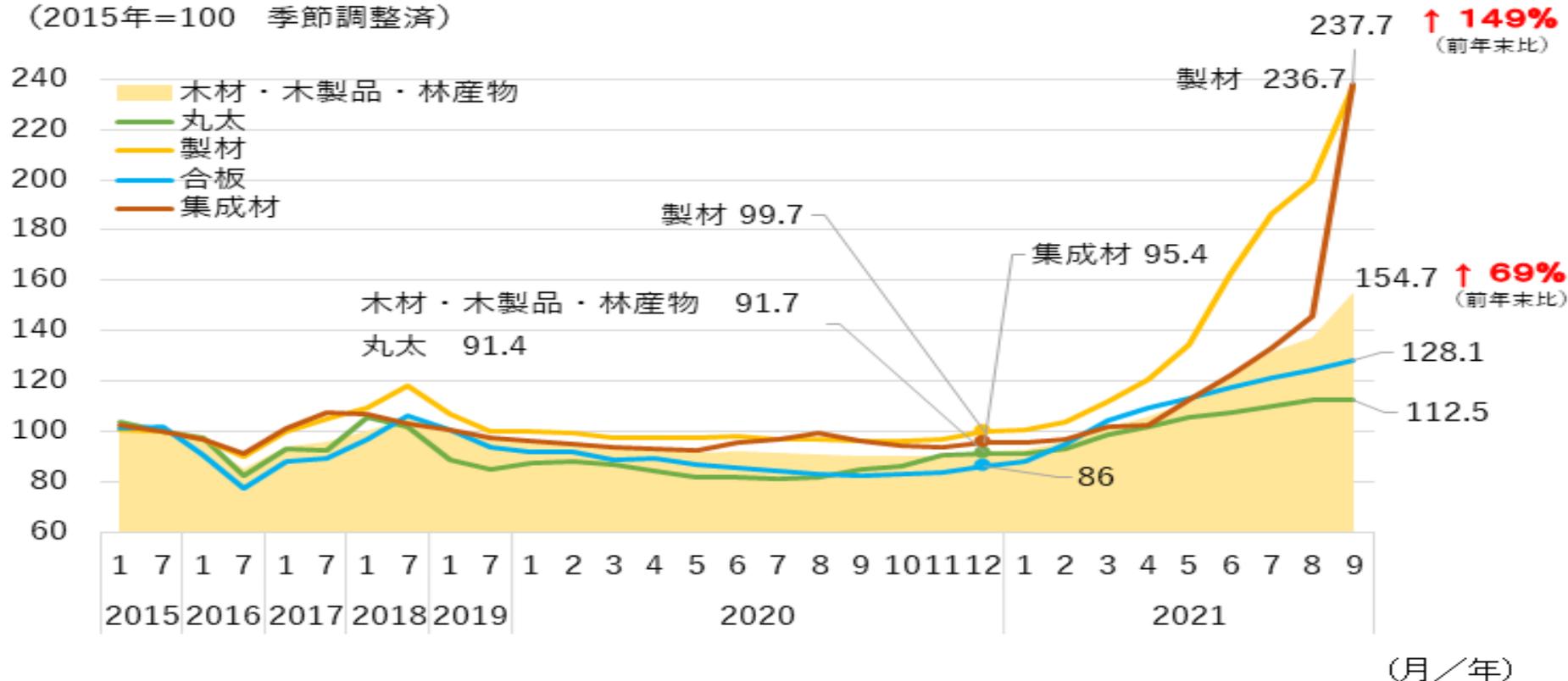
~~価格の動向~~

# 輸入価格の動向①

- 木材・木製品・林産物の輸入価格は、上昇傾向が継続。
- 特に、製材や集成材で上昇幅が大きい。

## 木材・木製品・林産物の輸入価格

(2015年=100 季節調整済)

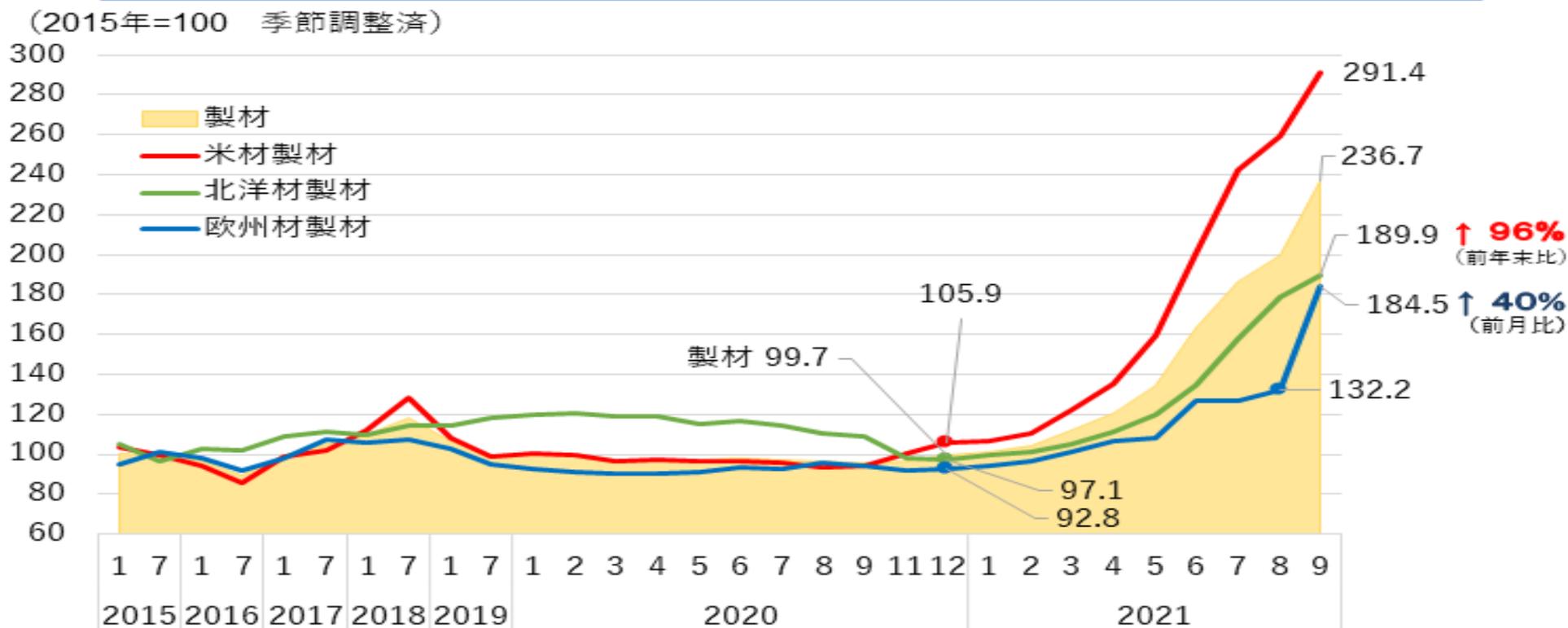


【資料】 企業物価指数（日本銀行）

## 輸入価格の動向②

- 製材の輸入価格は、米州からの輸入製材が大幅な上昇傾向を継続。
- 欧州からの輸入製材が、足下では急激に上昇。

### 製材の輸入価格



【資料】企業物価指数（日本銀行）  
 ※製材：製材三種全計

(月/年)

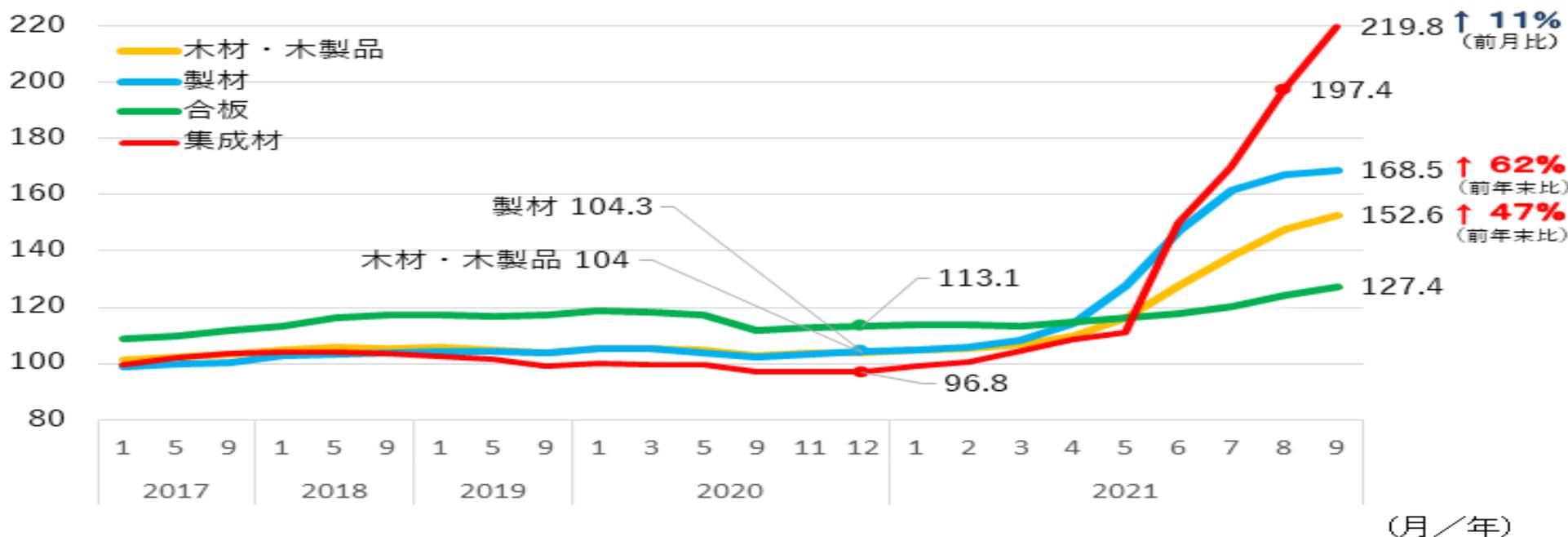


## 国内価格の動向②

- 製材の国内価格は、輸入価格の上昇ほどには上昇していない。  
⇒ 国産材へのシフト? + 価格上昇コストの吸収?
- 集成材の国内価格は、輸入価格の上昇を受けて、大幅に上昇。

### 木材・木製品の国内価格

(2015年=100 季節調整済)

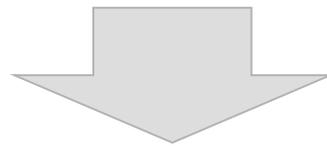


【資料】 企業物価指数 (日本銀行)

# 木材価格の動向

(まとめ)

- 輸入価格も、国内価格も、丸太を除き、引き続き上昇傾向を継続。
  - …輸入価格では、製材と集成材の上昇幅が大きい。
  - …製材の輸入価格は、米州からの輸入材の価格上昇の影響が大きい。
  - …国内価格では、集成材の価格が、輸入価格の影響を受けて、大幅上昇
  - …製材の国内価格は、国産材シフト？などから、上昇幅が今のところ限定的
  - …丸太は、上昇幅が相対的に小さいが、ヒノキ需要が顕在化



- 当面は、木材価格が高値水準で推移する可能性が高い。

(参考URL)

[https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikaisetsu/hitokoto\\_kako/20211022hitokoto.html](https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikaisetsu/hitokoto_kako/20211022hitokoto.html)